

平成27年度 財政状況資料集

総括表（市町村）

都道府県名		富山県		市町村類型	I－2		指定団体等の指定状況		区分		平成27年度(千円)	平成26年度(千円)	区分		平成27年度(千円・%)	平成26年度(千円・%)
							財政健全化等	×	歳入総額	14,056,442	14,275,761	実質収支比率	9.4	10.1		
市町村名		滑川市		地方交付税種地	2-3		財源超過	×	歳出総額	13,089,041	13,120,364	経常収支比率	84.3	86.1		
							首都	×	歳入歳出差引	967,401	1,155,397	(※1)	(90.5)	(93.0)		
							近畿	×	翌年度に繰越すべき財源	239,659	390,862	標準財政規模	7,750,528	7,605,131		
								×	実質収支	727,742	764,535	財政力指数	0.70	0.68		
人口		27年国調(人)	32,755	産業構造 (※5)			中部	×	単年度収支	-36,793	-17,123	公債費負担比率	9.3	9.7		
		22年国調(人)	33,676				過疎	×	積立金	580,258	318,585	健全化判断比率				
		増減率 (％)	-2.7				山振	×	繰上償還金	-	-	実質赤字比率	-	-		
住民基本台帳人口 (※7)		28.01.01(人)	33,489	区分	22年国調	17年国調	低開発	×	積立金取崩し額	290,000	320,000	連結実質赤字比率	-	-		
		うち日本人(人)	33,199	第1次	600	873	指数表選定	○	実質単年度収支	253,465	-18,538	実質公債費比率	10.5	11.4		
		27.01.01(人)	33,681		3.6	4.9					将来負担比率	42.1	51.4			
		うち日本人(人)	33,433	第2次	6,733	7,277										
		増減率 (％)	-0.6		40.1	40.6										
		うち日本人(%)	-0.7	第3次	9,454	9,714										
面積 (km ²)	54.63	56.3	54.2													
人口密度 (人/km ²)		600														
世帯数 (世帯)		11,699														
職員の状況																
特別職等	区分		定数	1人あたり平均給料月額(百円)	一般職員等(※6)	区分	職員数(人)	給料月額(百円)	1人あたり平均給料月額(百円)	基準財政収入額		4,286,146	4,138,706	資金不足比率 (※4)		
	市区町村長		1	6,412 <th>一般職員</th> <td>171</td> <td>506,160</td> <td>2,960<th colspan="2">基準財政需要額</th><th>6,028,243</th><th>5,841,043</th></td>		一般職員	171	506,160	2,960 <th colspan="2">基準財政需要額</th> <th>6,028,243</th> <th>5,841,043</th>	基準財政需要額		6,028,243	5,841,043			
	副市区町村長		1	7,310 <th>うち消防職員</th> <td>-</td> <td>-</td> <td>-<th colspan="2">標準税収入額等</th><th>5,451,657</th><th>5,316,154</th></td>		うち消防職員	-	-	- <th colspan="2">標準税収入額等</th> <th>5,451,657</th> <th>5,316,154</th>	標準税収入額等		5,451,657	5,316,154			
	教育長		1	6,200 <th>うち技能労務職員</th> <td>7</td> <td>20,916</td> <td>2,988<th colspan="2">経常経費充当一般財源等</th><th>6,903,916</th><th>6,873,249</th></td>		うち技能労務職員	7	20,916	2,988 <th colspan="2">経常経費充当一般財源等</th> <th>6,903,916</th> <th>6,873,249</th>	経常経費充当一般財源等		6,903,916	6,873,249			
	議会議長		1	4,240 <th>教育公務員</th> <td>-</td> <td>-</td> <td>-<th colspan="2">歳入一般財源等</th><th>10,090,633</th><th>10,130,040</th></td>		教育公務員	-	-	- <th colspan="2">歳入一般財源等</th> <th>10,090,633</th> <th>10,130,040</th>	歳入一般財源等		10,090,633	10,130,040			
	議会副議長		1	3,770 <th>臨時職員</th> <td>-</td> <td>-</td> <td>-<th colspan="2">地方債現在高</th><th>11,279,380</th><th>11,345,496</th></td>		臨時職員	-	-	- <th colspan="2">地方債現在高</th> <th>11,279,380</th> <th>11,345,496</th>	地方債現在高		11,279,380	11,345,496			
	議会議員		13	3,540 <th>合計</th> <td>171</td> <td>506,160</td> <td>2,960<th colspan="2">うち公的資金</th><th>10,410,904</th><th>10,396,533</th></td>		合計	171	506,160	2,960 <th colspan="2">うち公的資金</th> <th>10,410,904</th> <th>10,396,533</th>	うち公的資金		10,410,904	10,396,533			
						ラスパイレス指数	98.8 <th colspan="2">債務負担行為額(支出予定額)</th> <th>1,063,523</th> <th>1,307,365</th>			債務負担行為額(支出予定額)		1,063,523	1,307,365			
										収益事業収入		-	-			
									土地開発基金現在高		510,301	531,568 <th colspan="3"></th>				
									積立金現在高	財政調整基金		2,433,599	2,143,341 <th colspan="3"></th>			
										減債基金		571,909	586,023 <th colspan="3"></th>			
									その他特定目的基金		1,641,854	1,683,721 <th colspan="3"></th>				

一般会計等の一覧		事業会計の一覧		公営企業(法適)の一覧		公営企業(法非適)の一覧		関係する一部事務組合等一覧		地方公社・第三セクター等一覧	
項番	会計名	項番	会計名	項番	会計名	項番	会計名	項番	組合等名	項番	団体名
(1)	一般会計	(2)	国民健康保険事業特別会計	(5)	水道事業会計	(6)	下水道事業特別会計	(9)	富山地区広域圏事務組合(一般会計)	(15)	滑川市文化・スポーツ振興財団
		(3)	介護保険事業特別会計			(7)	農業集落排水事業特別会計	(10)	滑川中新川地区広域情報事務組合(一般会計)	(16)	滑川市体育協会
		(4)	後期高齢者医療事業特別会計			(8)	工業団地造成事業特別会計	(11)	富山県市町村会館管理組合(一般会計)	(17)	滑川市農業公社
								(12)	富山県後期高齢者医療広域連合(一般会計)	(18)	ウェーブ滑川
								(13)	富山県後期高齢者医療広域連合(後期高齢者医療事業特別会計)		
								(14)	富山県東部消防組合(一般会計)		

(1) 普通会計の状況（市町村）

歳入の状況（単位 千円・％）					地方税の状況（単位 千円・％）				
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比	超過課税分	
地方税	4,982,374	35.4	4,982,374	65.3	普通税	4,982,374	100.0	257,472	
地方譲与税	117,418	0.8	117,418	1.5	法定普通税	4,982,374	100.0	257,472	
利子割交付金	9,593	0.1	9,593	0.1	市町村民税	2,282,541	45.8	99,188	
配当割交付金	31,386	0.2	31,386	0.4	個人均等割	61,676	1.2	-	
株式等譲渡所得割交付金	24,910	0.2	24,910	0.3	所得割	1,615,101	32.4	-	
地方消費税交付金	629,211	4.5	629,211	8.2	法人均等割	99,190	2.0	16,483	
ゴルフ場利用税交付金	-	-	-	-	法人税割	506,574	10.2	82,705	
特別地方消費税交付金	-	-	-	-	固定資産税	2,398,256	48.1	158,284	
自動車取得税交付金	23,162	0.2	23,162	0.3	うち純固定資産税	2,397,909	48.1	158,284	
軽油引取税交付金	-	-	-	-	軽自動車税	73,954	1.5	-	
地方特例交付金	17,156	0.1	17,156	0.2	市町村たばこ税	227,623	4.6	-	
地方交付税	2,316,714	16.5	1,740,595	22.8	鉱産税	-	-	-	
普通交付税	1,740,595	12.4	1,740,595	22.8	特別土地保有税	-	-	-	
特別交付税	576,118	4.1	-	-	法定外普通税	-	-	-	
震災復興特別交付税	1	0.0	-	-	目的税	-	-	-	
（一般財源計）	8,151,924	58.0	7,575,805	99.3	法定目的税	-	-	-	
交通安全対策特別交付金	4,334	0.0	4,334	0.1	入湯税	-	-	-	
分担金・負担金	177,538	1.3	-	-	事業所税	-	-	-	
使用料	186,529	1.3	31,740	0.4	都市計画税	-	-	-	
手数料	31,050	0.2	-	-	水利地益税等	-	-	-	
国庫支出金	1,517,957	10.8	-	-	法定外目的税	-	-	-	
国有提供交付金（特別区財調交付金）	-	-	-	-	旧法による税	-	-	-	
都道府県支出金	1,056,480	7.5	-	-	合計	4,982,374	100.0	257,472	
財産収入	48,420	0.3	3,014	0.0	区分				
寄附金	29,206	0.2	-	-	徴収率		平成27年度	平成26年度	
繰入金	538,695	3.8	-	-	現	99.0	94.0	98.9	
繰越金	1,155,397	8.2	-	-	年	99.1	97.9	99.0	
諸収入	381,412	2.7	13,421	0.2	計	99.8	90.2	98.7	
地方債	777,500	5.5	-	-	(%)	合計	99.0	94.1	
うち減収補填債（特例分）	-	-	-	-	市町村民税	99.1	97.9	99.0	
うち臨時財政対策債	558,200	4.0	-	-	純固定資産税	98.8	90.2	90.4	
歳入合計	14,056,442	100.0	7,628,314	100.0	公営事業等への繰出				
					国民健康保険事業会計の状況				
					合計	1,698,197	実質収支	65,583	
					下水道	596,949	再差引収支	11,113	
					上水道	-	加入世帯数（世帯）	4,028	
					工業用水道	-	被保険者数（人）	6,435	
					交通	-	被保険者	98	
					国民健康保険	238,412	保険税（料）収入額	98	
					その他	862,836	1人当り	338	
					被保険者				
					国庫支出金				
					保険給付費				
					338				

（注釈）

普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

歳出の状況（単位 千円・％）					
目的別歳出の状況（単位 千円・％）					
区分	決算額（A）	構成比	(A)のうち普通建設事業費	(A)のうち充当一般財源等	
議会費	174,790	1.3	-	174,790	
総務費	1,941,705	14.8	74,087	1,730,796	
民生費	4,560,796	34.8	463,921	2,093,258	
衛生費	1,012,292	7.7	14,645	967,604	
労働費	40,430	0.3	-	13,380	
農林水産業費	523,588	4.0	176,313	365,573	
商工費	644,828	4.9	71,635	310,865	
土木費	1,483,077	11.3	617,204	1,111,929	
消防費	435,039	3.3	20,381	419,557	
教育費	1,298,859	9.9	374,708	994,043	
災害復旧費	666	0.0	-	192	
公債費	972,971	7.4	-	941,245	
諸支出金	-	-	-	-	
前年度繰上充用金	-	-	-	-	
歳出合計	13,089,041	100.0	1,812,894	9,123,232	
性質別歳出の状況（単位 千円・％）					
区分	決算額	構成比	充当一般財源等	経常経費充当一般財源等	経常収支比率
義務的経費計	5,075,775	38.8	3,086,316	3,068,615	37.5
人件費	1,498,394	11.4	1,359,055	1,342,637	16.4
うち職員給	907,552	6.9	782,759	-	-
扶助費	2,604,465	19.9	786,071	784,788	9.6
公債費	972,916	7.4	941,190	941,190	11.5
元利償還金	972,916	7.4	941,190	941,190	11.5
うち元金	843,616	6.4	811,916	811,916	9.9
うち利子	129,300	1.0	129,274	129,274	1.6
一時借入金利子	-	-	-	-	-
その他の経費	6,199,706	47.4	5,319,499	3,835,301	46.8
物件費	1,822,888	13.9	1,613,316	1,336,324	16.3
維持補修費	200,550	1.5	184,093	179,662	2.2
補助費等	1,433,459	11.0	1,218,958	933,961	11.4
うち一部事務組合負担金	754,791	5.8	747,885	747,885	9.1
繰出金	1,698,197	13.0	1,543,352	1,385,354	16.9
積立金	772,972	5.9	759,780	-	-
投資・出資金・貸付金	271,640	2.1	-	-	-
前年度繰上充用金	-	-	-	-	-
投資的経費計	1,813,560	13.9	717,417	-	-
うち人件費	24,091	0.2	24,091	-	-
普通建設事業費	1,812,894	13.9	717,225	-	-
うち補助	596,763	4.6	35,776	-	-
うち単独	1,171,543	9.0	646,383	-	-
災害復旧事業費	666	0.0	192	-	-
失業対策事業費	-	-	-	-	-
歳出合計	13,089,041	100.0	9,123,232	-	-

(2) 各会計、関係団体の財政状況及び健全化判断比率（市町村）

一般会計等の財政状況(単位:百万円)

	会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等からの繰入金	地方債現在高	備考
1	一般会計	14,056	13,089	967	728	539	11,279	
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								実質赤字額
計	一般会計等(純計)	14,056	13,089	967	728		11,279	-

※一般会計等(純計)は、各会計の相互間の繰入・繰出等の重複を控除したものであり、各会計の合計と一致しない場合がある。

公営企業会計等の財政状況(単位:百万円)

	会計名	総収益(歳入)	総費用(歳出)	純損益(形式収支)	資金剰余額/不足額(実質収支)	他会計等からの繰入金	企業債(地方債)現在高	左のうち一般会計等繰入見込額	資金不足比率	備考
1	国民健康保険事業特別会計	3,466	3,400	66	66	238	-	-	-	
2	介護保険事業特別会計	2,891	2,867	24	24	433	-	-	-	
3	後期高齢者医療事業特別会計	344	340	4	4	88	-	-	-	
4	水道事業会計	450	383	67	523	-	2,274	-	-	法適用企業
5	下水道事業特別会計	2,144	2,131	14	7	524	12,560	8,616	-	法非適用企業
6	農業集落排水事業特別会計	160	160	-	-	67	1,640	1,204	-	法非適用企業
7	工業団地造成事業特別会計	11	10	0	0	-	-	-	-	法非適用企業
8										
9										
10										
11										
12										
13										
14										
15										
16										
17										
18										
19										
20										
21										
22										
23										
24										
25										
26										
27										
28										
29										
30										
31										
32										
33										
34										
35										連結実質赤字額
計	公営企業会計等				624		16,474	9,820		-

関係する一部事務組合等の財政状況(単位:百万円)

	一部事務組合等名	総収益(歳入)	総費用(歳出)	純損益(形式収支)	資金剰余額/不足額(実質収支)	他会計等からの繰入金	企業債(地方債)現在高	左のうち一般会計等負担見込額	備考
1	富山地区広域圏事務組合(一般会計)	6,734	6,122	612	612	-	3,667	490	
2	滑川中新川地区広域情報事務組合(一般会計)	842	763	79	79	-	380	137	
3	富山県市町村会館管理組合(一般会計)	244	210	33	33	-	-	-	
4	富山県後期高齢者医療広域連合(一般会計)	137	134	4	4	-	-	-	
5	富山県後期高齢者医療広域連合(後期高齢者医療事業特別会計)	147,044	146,359	684	684	-	-	-	
6	富山県東部消防組合(一般会計)	1,151	1,119	32	32	-	1,255	362	
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
計	一部事務組合等				1,444		5,302	989	

公債費負担の状況

実質公債費比率（千円・％）				
区分	平成25年度	平成26年度	平成27年度	分母比
元利償還金	1,049,066	1,008,781	972,916	14.9
減債基金積立不足算定額	-	-	-	-
準元利償還金				
満期一括償還地方債に係る年度割相当額	-	-	-	-
公営企業債の元利償還金に対する繰入金	571,033	585,174	584,305	9.0
組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等	298,655	295,469	312,390	4.8
債務負担行為に基づく支出額(公債費に準ずるもの)	43,932	53,918	30,434	0.5
一時借入金の利子	-	-	-	-
合計	(A) 1,962,686	1,943,342	1,900,045	
内訳	平成25年度	平成26年度	平成27年度	分母比
PFI事業に係るもの	-	-	-	-
いわゆる五省協定等に係るもの	-	-	-	-
国営土地改良事業・森林総合研究所等が行う事業に係るもの	-	-	-	-
地方公務員等共済組合に係るもの	-	-	-	-
社会福祉法人の施設建設費に係るもの	-	-	-	-
損失補償・債務保証の履行に係るもの	-	-	-	-
引き受けた債務の履行に係るもの	-	-	-	-
その他上記に準ずるもの	-	-	-	-
利子補給に係るもの	43,932	53,918	30,434	0.5
特定財源の額	(B) 41,708	26,793	31,726	
標準財政規模	(C) 7,703,063	7,605,131	7,750,528	
算入公債費等の額	(D) 1,169,778	1,255,201	1,223,195	
	(C)-(D) 6,533,285	6,349,930	6,527,333	
実質公債費比率	(単年度)	11.5	10.4	9.9
((A)-((B)+(D)))/((C)-(D))×100	(3ヵ年平均)	12.5	11.4	10.5

将来負担の状況

将来負担比率（千円・％）				
区分	平成25年度	平成26年度	平成27年度	分母比
将来負担額	11,081,829	11,345,496	11,279,380	172.8
一般会計等に係る地方債の現在高	265,438	207,278	162,172	2.5
債務負担行為に基づく支出予定額	9,553,168	9,783,826	9,819,830	150.4
公営企業債等繰入見込額	1,357,521	1,312,085	988,726	15.1
組合等負担等見込額	1,787,988	1,581,479	1,479,511	22.7
退職手当負担見込額	-	-	-	-
設立法人等の負債額等負担見込額	-	-	-	-
連結実質赤字額	-	-	-	-
組合等連結実質赤字額負担見込額	-	-	-	-
合計	(E) 24,045,944	24,230,164	23,729,619	
充当可能基金	4,586,491	4,552,099	4,795,371	73.5
充当可能特定繰入	290,654	245,761	197,237	3.0
基準財政需要額算入見込額	16,207,635	16,166,966	15,986,927	244.9
合計	(F) 21,084,780	20,964,826	20,979,535	
将来負担比率((E)-(F))/((C)-(D))×100	45.3	51.4	42.1	

健全化判断比率	平成27年度	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	-	13.82	20.00
連結実質赤字比率	-	18.82	30.00
実質公債費比率	10.5	25.0	35.0
将来負担比率	42.1	350.0	

地方公社・第三セクター等の経営状況及び地方公共団体の財政的支援の状況(単位:百万円)

	地方公社・第三セクター等名	経常損益	純資産又は正味財産	当該団体からの出資金	当該団体からの補助金	当該団体からの貸付金	当該団体からの債務保証に係る債務残高	当該団体からの損失補償に係る債務残高	一般会計等負担見込額	備考
1	滑川市文化・スポーツ振興財団	▲ 9	45	43	28	-	-	-	-	
2	滑川市体育協会	2	116	93	2	-	-	-	-	
3	滑川市農業公社	-	100	50	1	-	-	-	-	
4	ウェーブ滑川	5	16	8	-	-	-	-	-	
5										
6										
7										
8										
9										
10										
11										
12										
13										
14										
15										
16										
17										
18										
19										
20										
21										
22										
23										
24										
25										
26										
27										
28										
29										
30										
31										
32										
33										
34										
35										
36										
37										
38										
39										
40										
41										
42										
43										
44										
45										
46										
47										
48										
49										
50										
51										
52										
53										
54										
55										
56										
57										
58										
59										
60										
61										
62										
63										
64										
65										
66										
67										
68										
69										
70										
71										
72										
73										
74										
75										
76										
77										
78										
79										
80										
81										
82										
計	地方公社・第三セクター等			194	31	-	-	-	-	

※地方公共団体が①25%以上出資している法人又は②財政支援を行っている法人を記載している。

※地方公共団体財政健全化法に基づき将来負担比率の算定対象となっている法人については、○印を付与している。

(3)市町村財政比較分析表(普通会計決算)

人	口	33,489	人(H28.1.1現在)	実	質	赤	字	比	率	-	%
う	ち	日	本	人	33,199	人(H28.1.1現在)	連	結	実	-	%
面	積	54.63	km ²	実	質	公	債	費	比	10.5	%
歳	入	総	額	14,056,442	千円	将	来	負	担	42.1	%
歳	出	総	額	13,089,041	千円	市	町	村	類	H23	I-2
実	質	収	支	727,742	千円	(	年	度	毎	H26	I-2
標	準	財	政	規	模	7,750,528	千円			H27	I-2
地	方	債	現	在	高	11,279,380	千円				



※市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。

※平成28年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率及び将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

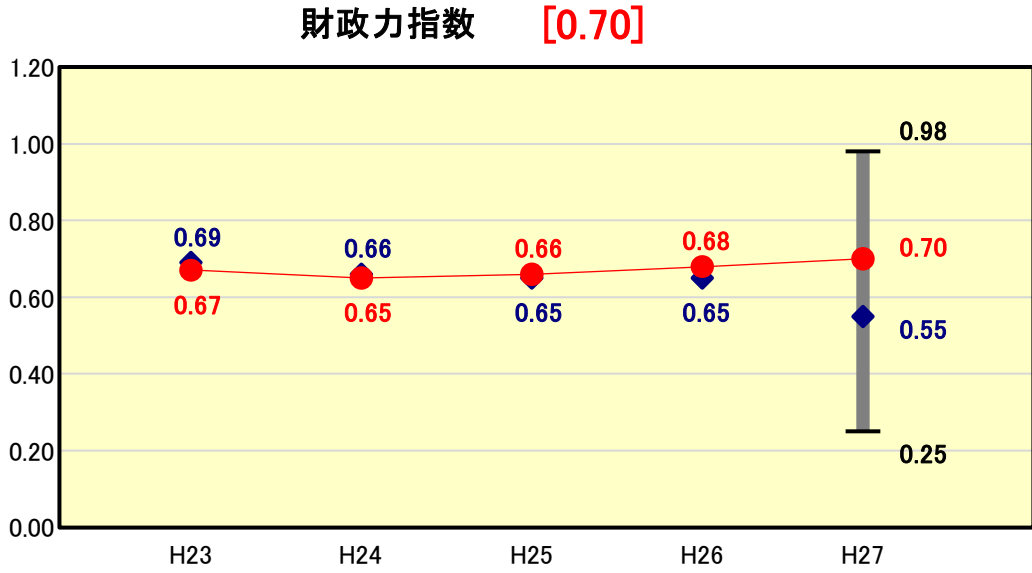
※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記しない。

※「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

※住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。

※類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成27年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。

財政力



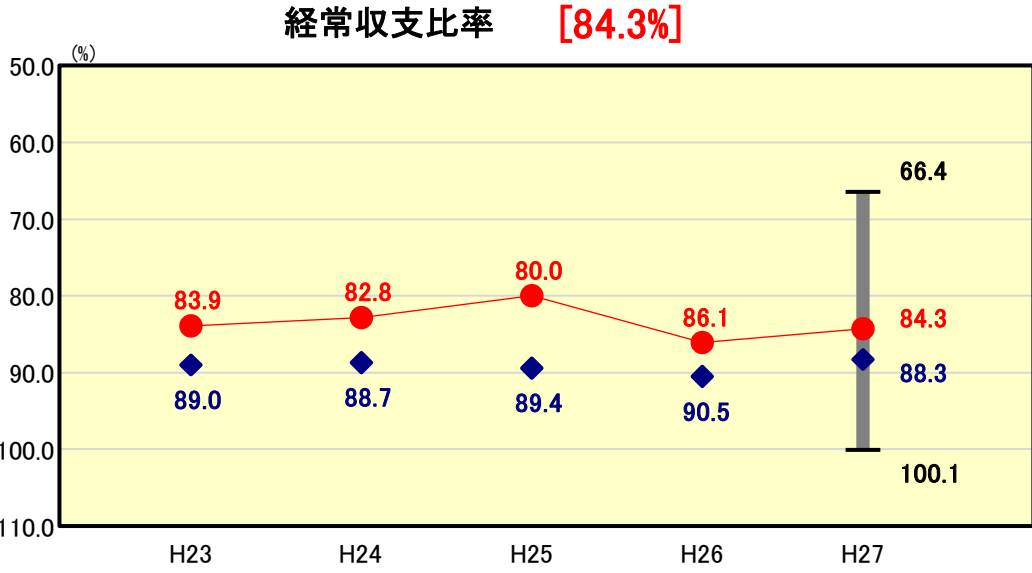
類似団体内順位 10/67 全国平均 0.50 富山県平均 0.55

財政力指数の分析欄

緊急防災減債事業債、全国防災事業債の元金償還が始まったことなどにより基準財政需要額が増加したが、地方消費税交付金の税率引上げ分の算入により基準財政収入額も増加したため、財政力指数は概ね前年度と同水準の0.70となった。しかしながら、市民税所得割が増加した一方で、家屋分の固定資産税が大きく減少しており、基準財政収入額として算入された市税は減少している。

社会保障費の増加など厳しい状況が今後も予測されることから、引き続き市税等の徴収強化に努め、堅固な財政基盤を構築していく。

財政構造の弾力性



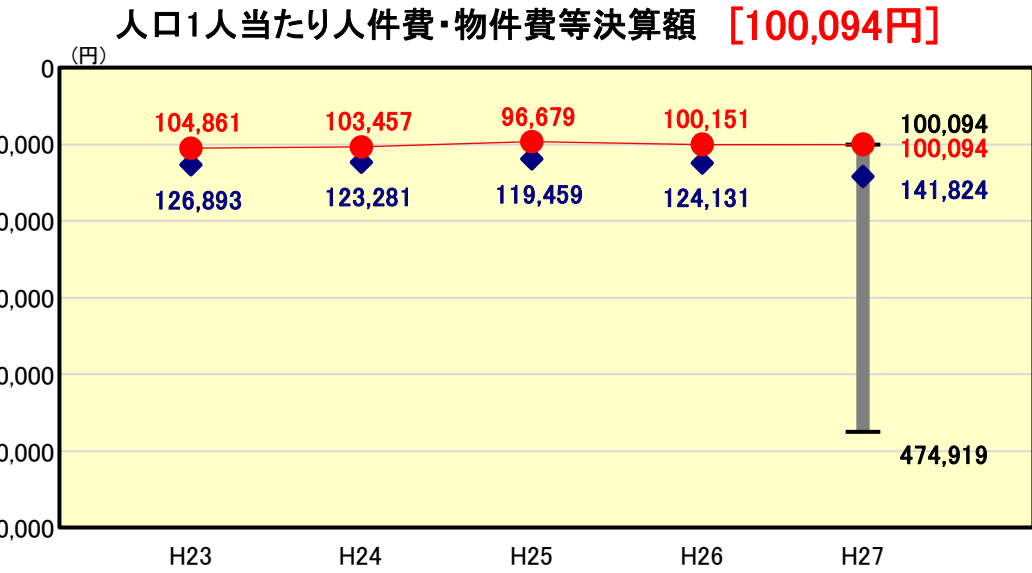
類似団体内順位 16/67 全国平均 90.0 富山県平均 85.8

経常収支比率の分析欄

前年度に比べ1.8ポイント改善しており、経常収支比率は類似団体内平均、全国平均よりも弾力性がみられる。

しかしながら、社会保障に係る経費が年々増加傾向にあることなどから、今後は経常収支比率の上昇が予想される。事務事業評価に基づいて計画的に事業の廃止・縮減を図ることで経常経費の削減に努めていく。

人件費・物件費等の状況

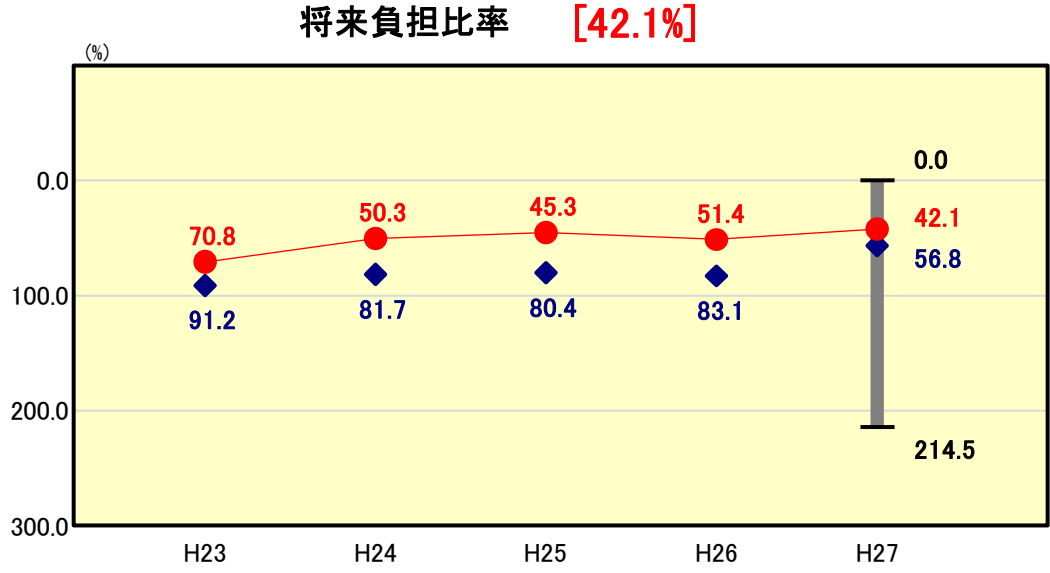


類似団体内順位 1/67 全国平均 121,920 富山県平均 114,024

人口1人当たり人件費・物件費等決算額の分析欄

定員適正化計画に基づいて職員数の抑制に努め、人件費を抑えていることや、施設管理に係る委託料などの圧縮により、人口1人当たり人件費・物件費等決算額は昨年度より若干減少し、類似団体内では最も低い100,094円となっている。

将来負担の状況



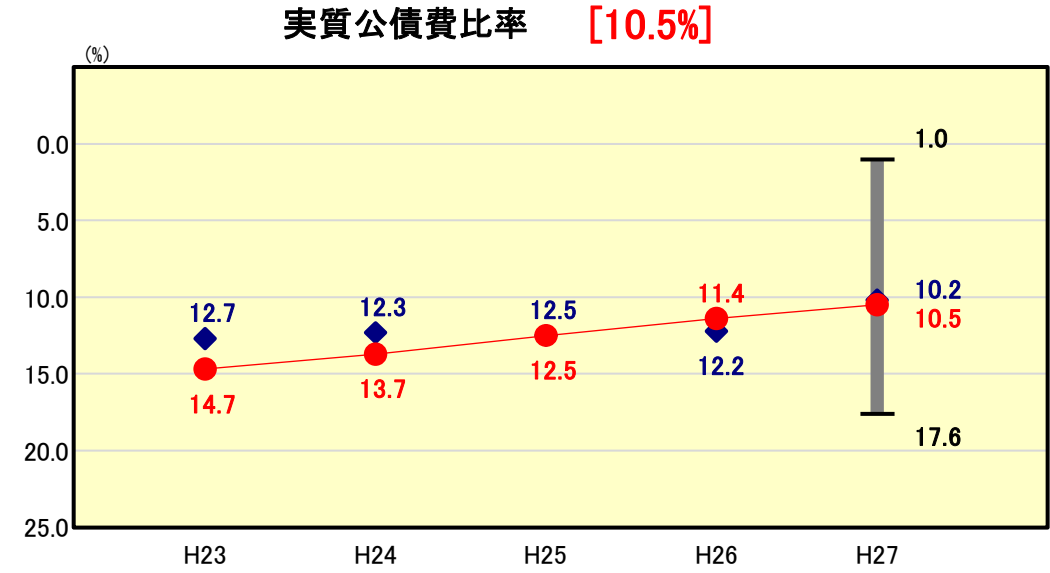
類似団体内順位 26/67 全国平均 38.9 富山県平均 106.5

将来負担比率の分析欄

地方債の現在高が減少したことや一部事務組合等が起こした地方債に係る償還金負担見込額が減少したことなどにより、昨年に比べて9.3ポイント改善したものの、依然として全国平均を上回っている。

今後は社会保障に係る経費が年々増加傾向にあることや公共施設の耐震化に伴い発行した地方債の償還金が平成29年度にピークを迎えることなどから、基金の取り崩しを行わなければならない状況にある。将来に向け過度の負担とならないように、地方債の発行については慎重に検討すると同時に、計画的な基金の積み立てに努めていく。

公債費負担の状況



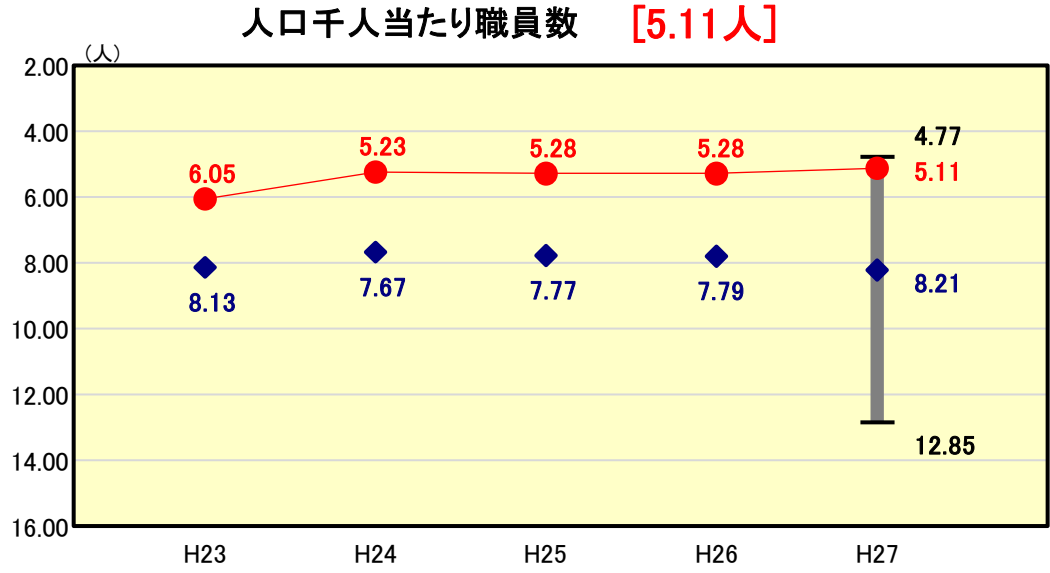
類似団体内順位 34/67 全国平均 7.4 富山県平均 12.9

実質公債費比率の分析欄

実質公債費比率は10.5%と昨年度に比べ0.9ポイント改善したが、類似団体内平均が当市を上回る水準で改善したため、類似団体平均を0.3ポイント、全国平均を3.1ポイント上回った。

新規地方債の発行を抑制し、ここ数年は実質公債費比率を順調に改善させてきた。しかしながら、公共施設の耐震化のためにやむを得ず発行した地方債の元金償還が平成27年度から始まっており、今後は毎年度の償還額が増加に転じることも考慮し、新規地方債の発行についてはこれまで以上に慎重な見極めが必要である。

定員管理の状況



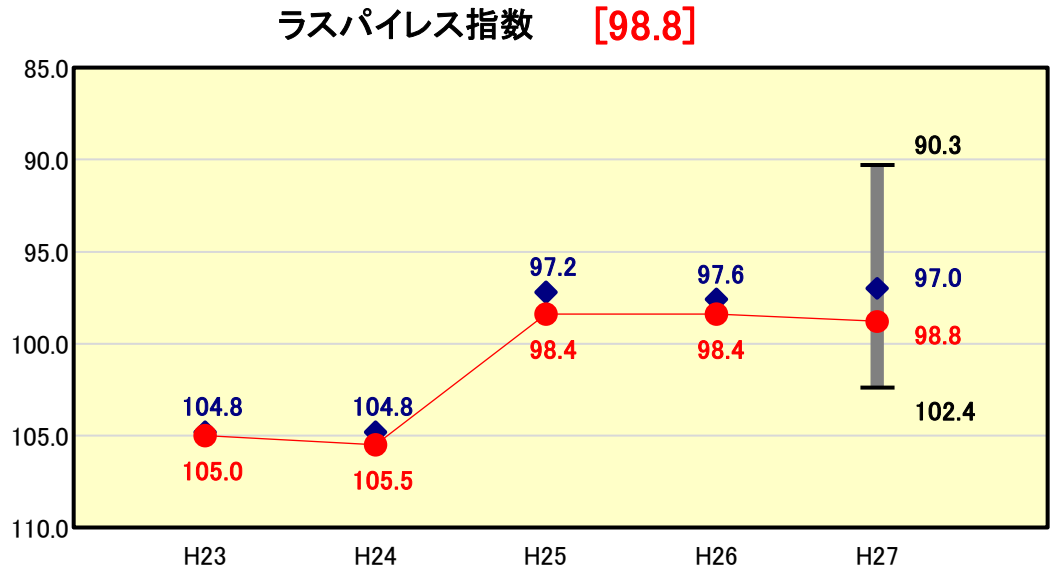
類似団体内順位 2/67 全国平均 6.96 富山県平均 7.36

人口千人当たり職員数の分析欄

定員適正化計画に基づいて職員数の抑制に努めており、人口千人当たり職員数は類似団体内で2番目に少ない5.11人と、全国平均を大きく下回っている。

引き続き研修制度の充実などを図り、少数精鋭体制を維持していく。

給与水準（国との比較）



類似団体内順位 49/67 全国市平均 99.1 全国町村平均 96.3

ラスパイレス指数の分析欄

ラスパイレス指数は98.8と昨年度より若干上昇したが、当市は特殊手当がなく、各種手当も必要最低限のものとなっている。

引き続き事務の簡素合理化、ノー残業デーや振替休日の徹底などにより、時間外勤務手当の削減を図り、給与の適正化に努めていく。

(4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成27年度

富山県滑川市

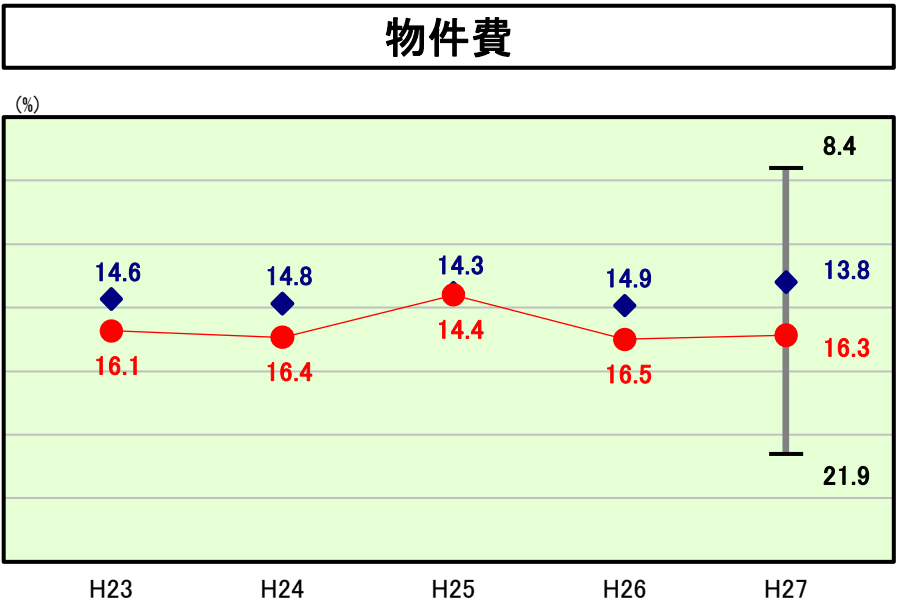
経常収支比率の分析

人	口	33,489	人(H28.1.1現在)	実	質	赤	字	比	率	-	%						
うち	日	本	人(H28.1.1現在)	連	結	実	質	赤	字	比	率	-	%				
面	積	54.63	km ²	実	質	公	債	費	比	率	10.5	%					
歳	入	総	額	14,056,442	千円	将	来	負	担	比	率	42.1	%				
歳	出	総	額	13,089,041	千円	市	町	村	類	型	H23	I-2	H24	I-2	H25	I-2	
実	質	収	支	727,742	千円	(	年	度	毎	)	H26	I-2	H27	I-2			
標	準	財	政	規	模	7,750,528	千円										

※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。

※ 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に搭載されている人口を記載。

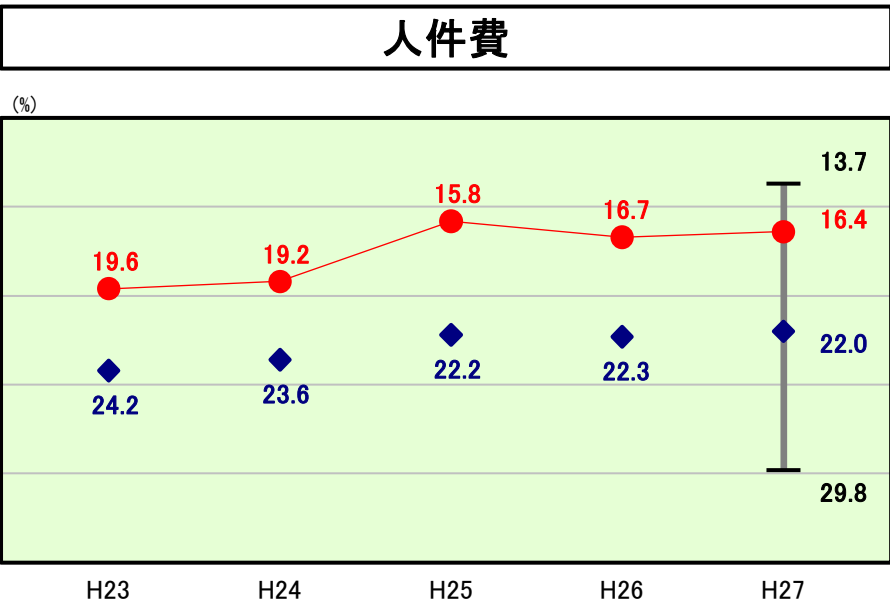
※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成27年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



類似団体内順位 54/67 全国平均 14.3 富山県平均 13.5

物件費の分析欄

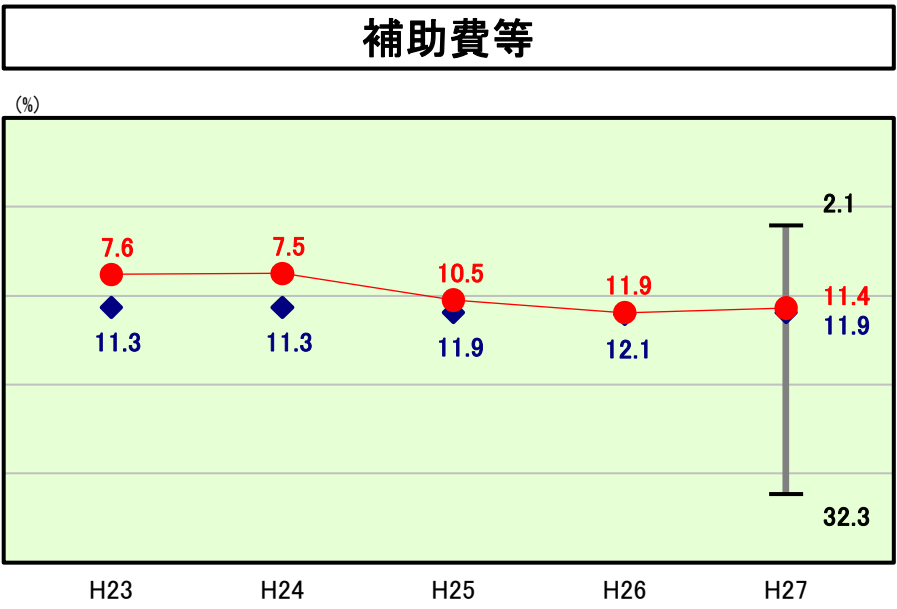
物件費に係る経常収支比率は16.3%と概ね前年度と同水準であるが、類似団体内平均、全国平均をいずれも上回っている。これは、各施設の管理やごみ収集などの業務を外部委託していることによるものである。



類似団体内順位 4/67 全国平均 23.3 富山県平均 19.9

人件費の分析欄

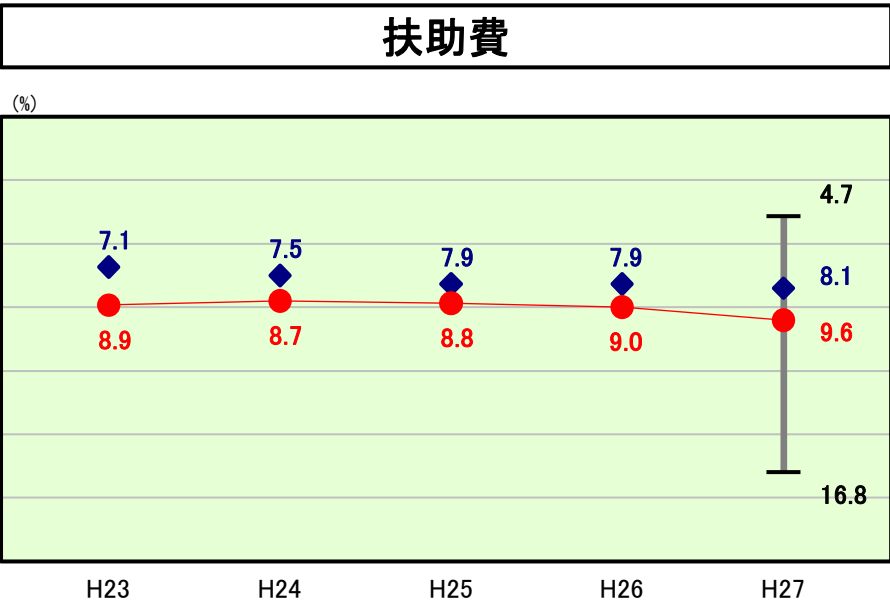
人件費に係る経常収支比率は類似団体内平均及び全国平均を下回る16.4%となっている。これは、人口千人当たり職員数が5.11と類似団体内で2番目に少なく、また手当等についても必要最小限のものしか設けていないためである。



類似団体内順位 31/67 全国平均 10.0 富山県平均 10.3

補助費等の分析欄

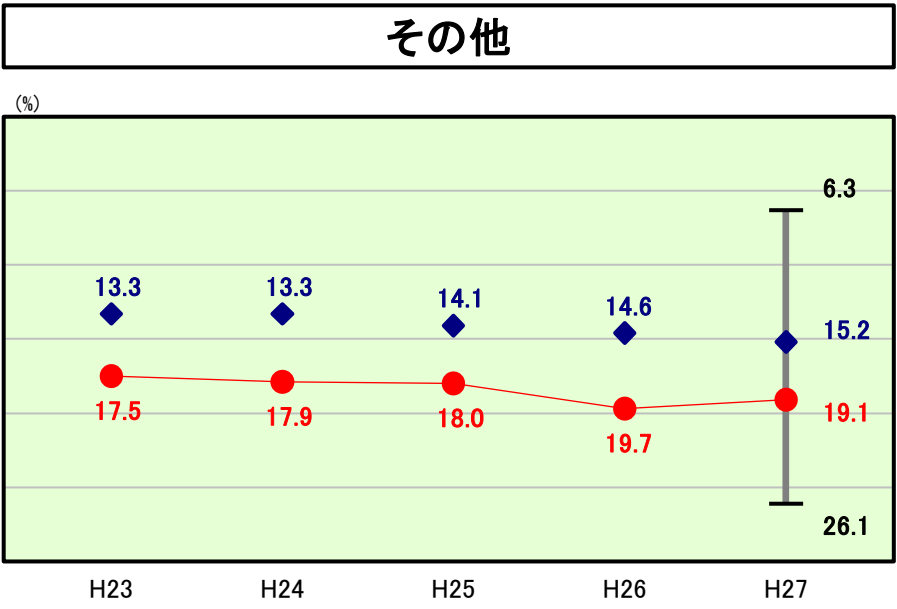
補助費等に係る経常収支比率は11.4%で、前年度と比べて0.5ポイント減少した。平成25年度に大幅に増加したのは、消防広域化に伴う一部事務組合への負担金の発生によるものである。



類似団体内順位 54/67 全国平均 11.8 富山県平均 8.6

扶助費の分析欄

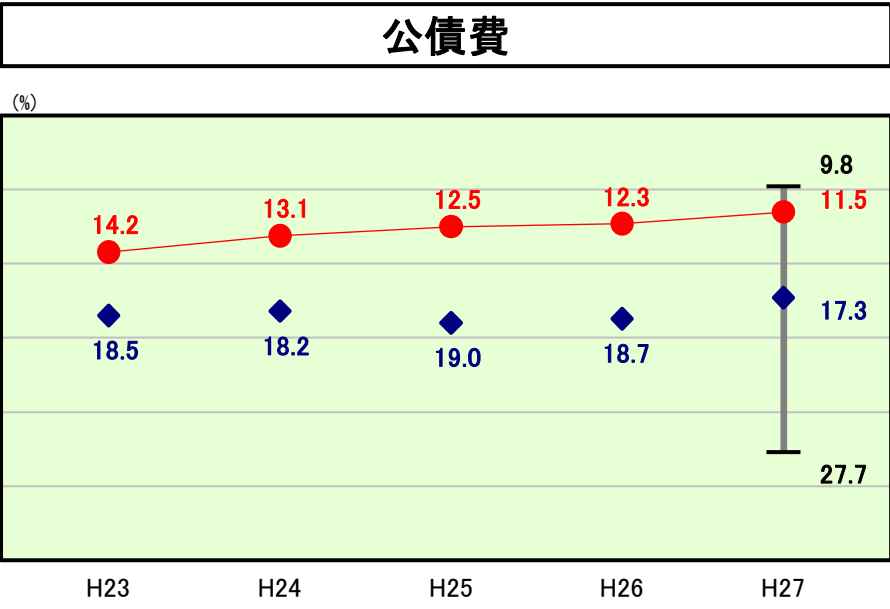
扶助費に係る経常収支比率は9.6%と類似団体内平均を上回っている。これは、中学校修了までの子どもにかかる医療費自己負担分の助成や第3子以降の保育料等の完全無料化、保育所における特別保育事業などの子育て支援施策を積極的に実施しているためである。



類似団体内順位 58/67 全国平均 13.2 富山県平均 13.3

その他の分析欄

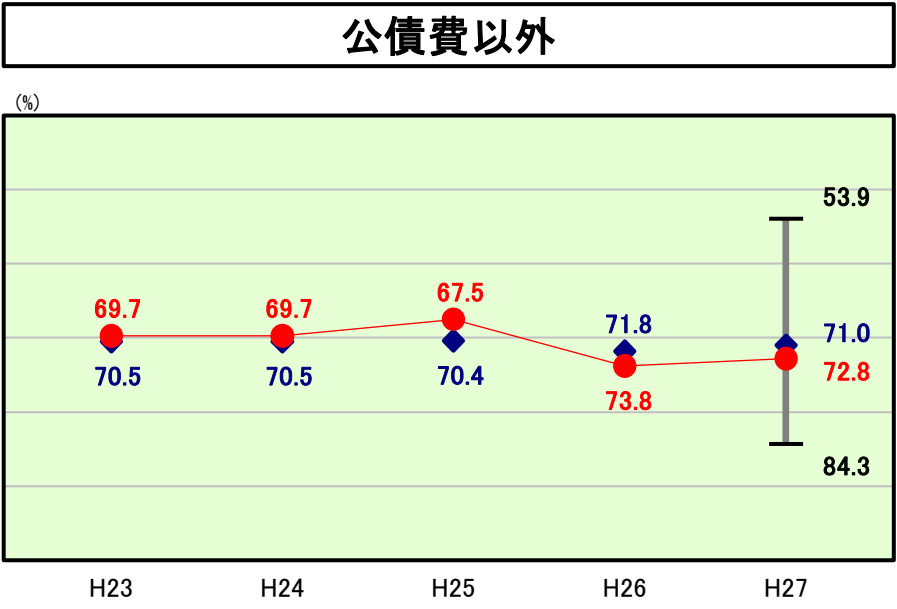
維持補修費と繰出金がこの項目に該当する。暖冬で除雪費用が減少したことなどにより維持補修費は減少したが、国民健康保険事業特別会計などへの繰出金が増加していることにより、前年度と比べて0.6ポイント減少したものの、類似団体内平均、全国平均を依然として大きく上回っている。健康寿命の延伸を図るための諸施策を積極的に実施しているところであり、医療や介護に係る特別会計への繰出金の抑制に



類似団体内順位 2/67 全国平均 17.4 富山県平均 20.2

公債費の分析欄

地域総合整備事業債は平成25年度、厚生福祉施設整備事業債は平成26年度までに全て償還を終了したことや、中学校改築に係る一般単独事業債が順次償還を終了していることなどにより、公債費に係る経常収支比率は年々減少している。しかしながら、公共施設の耐震化を進めるにあたり多くの地方債を発行しており、その元金償還が平成27年度から順次始まっていることから、今後は増加に転じる見込みであり、新規地方債



類似団体内順位 36/67 全国平均 72.6 富山県平均 65.6

公債費以外の分析欄

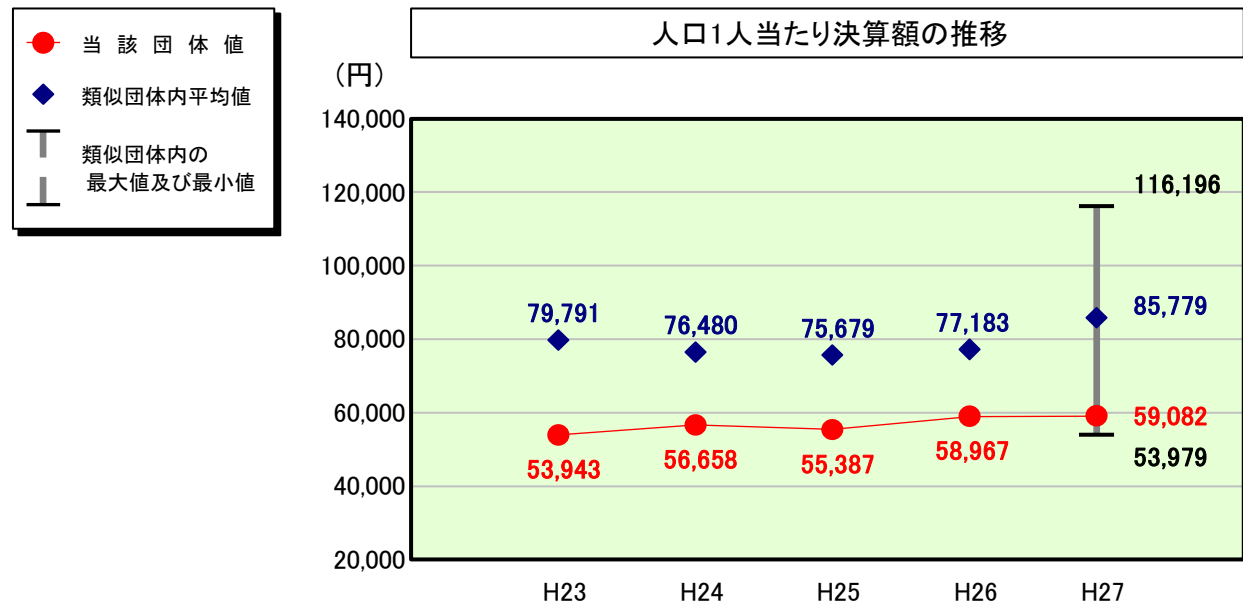
公債費を除く経常収支比率は72.8%と前年度より1.0ポイント減少している。しかしながら、扶助費や医療・介護に係る特別会計への繰出金については年々増加傾向にあることから、引き続き事務事業の効率化を図り、歳出全体の抑制に努める。

(4)-2 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成27年度

富山県滑川市

人件費及び人件費に準ずる費用の分析



人件費及び人件費に準ずる費用

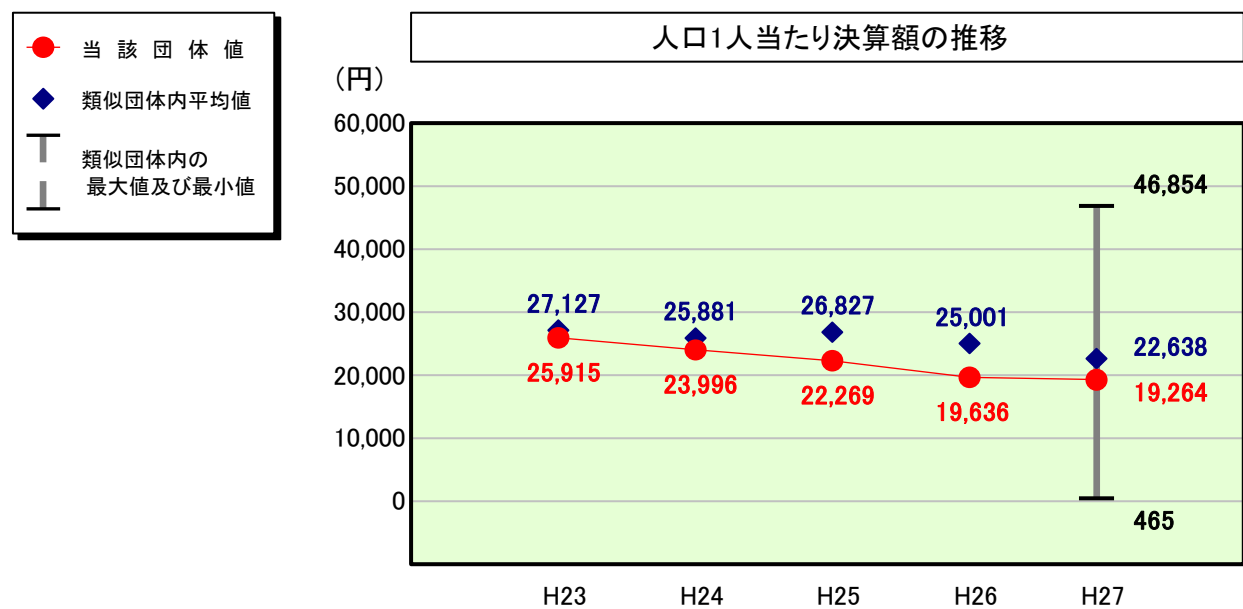
	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	対比 (%)
人件費	1,498,394	44,743	71,916	▲ 37.8
賃金 (物件費)	213,341	6,370	7,911	▲ 19.5
一部事務組合負担金 (補助費等)	316,302	9,445	7,787	21.3
公営企業 (法適) 等に対する繰出し (補助費等)	-	-	906	-
公営企業 (法適) 等に対する繰出し (投資及び出資金・貸付金)	-	-	13	-
公営企業 (法非適) 等に対する繰出し (繰出金)	120,357	3,594	3,077	16.8
事業費支弁に係る職員の人件費 (投資的経費)	24,091	719	1,653	▲ 56.5
▲退職金	▲ 193,872	▲ 5,789	▲ 7,483	▲ 22.6
合計	1,978,613	59,082	85,779	▲ 31.1

参考

	当該団体	類似団体平均	対比 (差引)
人口1,000人当たり職員数 (人)	5.11	8.21	▲ 3.10
ラスパイレス指数	98.8	97.0	1.8

(注) 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。

公債費及び公債費に準ずる費用の分析

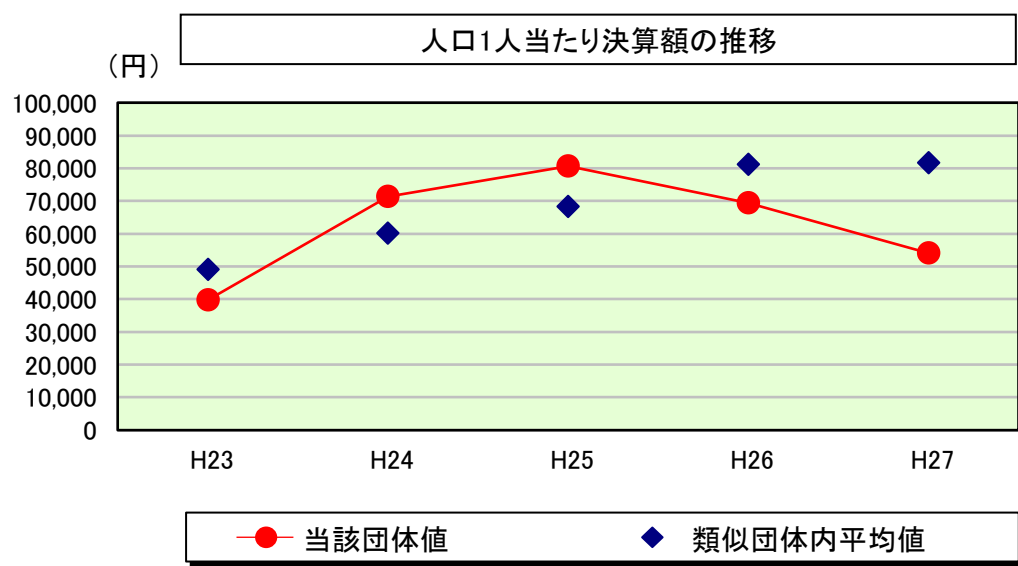


公債費及び公債費に準ずる費用 (実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	対比 (%)
元利償還金の額 (繰上償還額等を除く)	972,916	29,052	51,963	▲ 44.1
積立不足額を考慮して算定した額	-	-	-	-
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)	-	-	71	-
公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に 充てたと認められる繰入金	584,305	17,448	20,847	▲ 16.3
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる 補助金又は負担金	312,390	9,328	3,529	164.3
公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	30,434	909	828	9.8
一時借入金利子 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	-	-	6	-
▲特定財源の額	▲ 31,726	▲ 947	▲ 4,386	▲ 78.4
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として 普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲ 1,223,195	▲ 36,525	▲ 50,220	▲ 27.3
合計	645,124	19,264	22,638	▲ 14.9

※平成28年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(参考) 普通建設事業費の分析



普通建設事業費

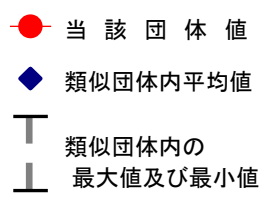
	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
		当該団体 (円)	増減率 (%) (A)	類似団体平均 (円)	増減率 (%) (B)	(A)-(B)
H23	1,339,916	39,753	▲ 15.0	49,094	▲ 43.2	28.2
うち単独分	775,895	23,019	▲ 19.3	27,415	▲ 33.5	14.2
H24	2,415,138	71,416	79.6	60,245	22.7	56.9
うち単独分	1,064,595	31,480	36.8	33,678	22.8	14.0
H25	2,722,975	80,721	13.0	68,386	13.5	▲ 0.5
うち単独分	1,489,822	44,165	40.3	35,121	4.3	36.0
H26	2,339,149	69,450	▲ 14.0	81,305	18.9	▲ 32.9
うち単独分	1,283,471	38,107	▲ 13.7	48,720	38.7	▲ 52.4
H27	1,812,894	54,134	▲ 22.1	81,768	0.6	▲ 22.7
うち単独分	1,171,543	34,983	▲ 8.2	37,917	▲ 22.2	14.0
過去5年間平均	2,126,014	63,095	8.3	68,160	2.5	5.8
うち単独分	1,157,065	34,351	7.2	36,570	2.0	5.2

(5)市町村性質別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

平成27年度

富山県滑川市

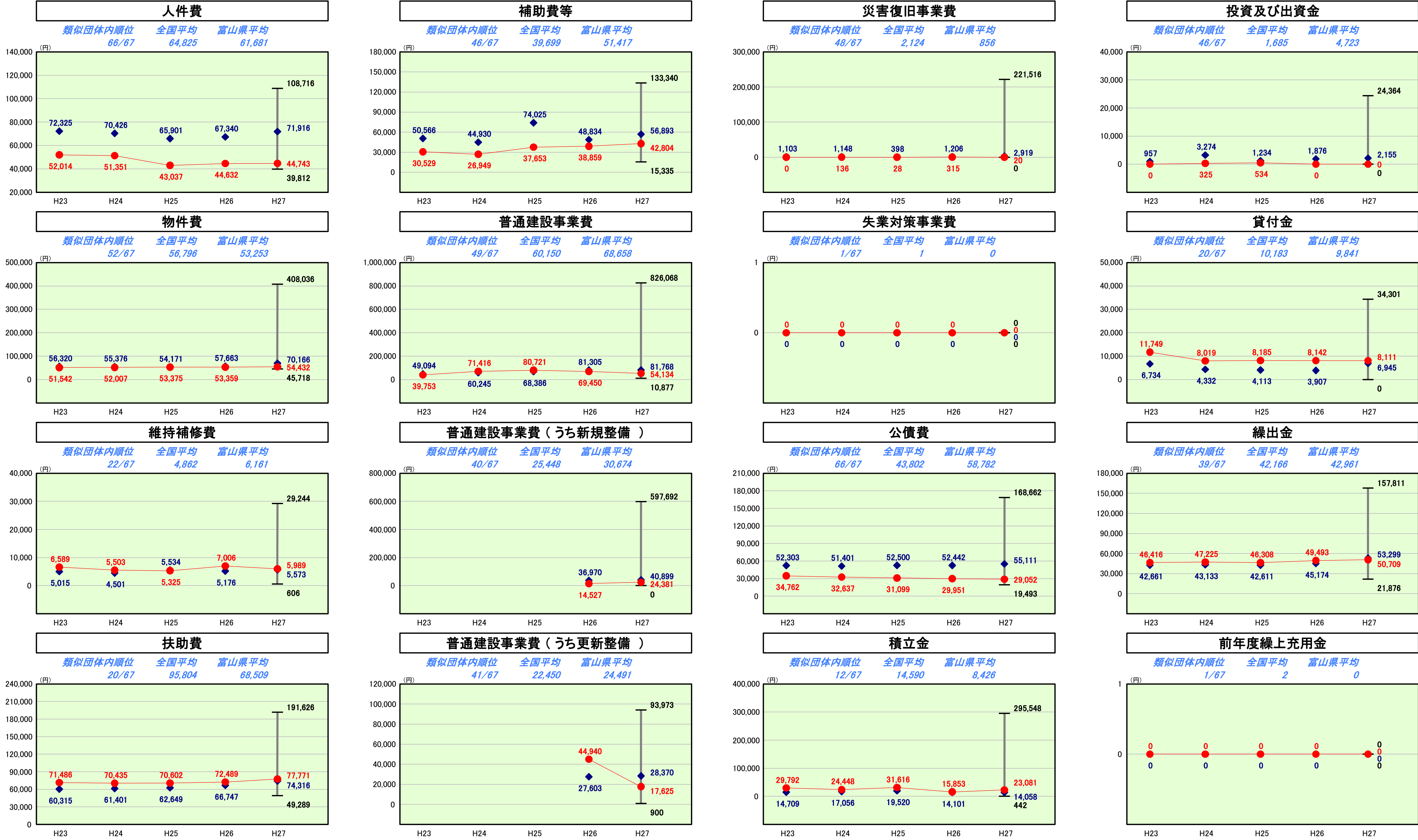
人	33,489	人(H28.1.1現在)			
うち日本	33,199	人(H28.1.1現在)			
面積	54.63	km ²			
歳入総額	14,056,442	千円			
歳出総額	13,089,041	千円			
実質収支	727,742	千円			
標準財政規模	7,750,528	千円			
地方債現在高	11,279,380	千円			
実質赤字比率	-	%			
連結実質赤字比率	-	%			
実質公債費比率	10.5	%			
将来負担比率	42.1	%			
市町村類型	H23 I-2 H24 I-2 H25 I-2				
(年度毎)	H26 I-2 H27 I-2				



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。

※ 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。

※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成27年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



性質別歳出の分析欄

類似団体平均との乖離が一貫して大きいのは人件費である。これは、定員適正化計画に基づいて職員数の抑制に努めた結果、人口千人当たり職員数が類似団体内でほぼ最少を維持していることや、手当等について必要最小限のものしか設けていないことなどで人件費を抑えているためである。なお、平成25年度に人件費が減少しているのは消防広域化に伴う一部事務組合への加入によるもので、代わりに人件費相当分を負担金と支出しているため補助費等が増加している。

また、公債費は、平成19年度から平成21年度にかけて年利率5%以上で借り入れた公的資金について繰上償還を実施したため、平成23年度時点でも住民一人当たりのコストは類似団体平均を大きく下回っていた。その後も、地域総合整備事業債は平成25年度までに、厚生福祉施設整備事業債は平成26年度までに全て償還を終了したことや、一般単独事業債のうち中学校改築に係るものが順次償還を終了していることなどにより、年々減少している。しかしながら、東日本大震災を受けて、平成24年度から平成26年度にかけて市庁舎や教育施設などの公共施設の耐震化を進めており、その際に発行した地方債の元金償還が平成27年度から始まっていることから、今後は増加に転じる見込みである。なお、耐震化の影響は平成24年度から平成25年度にかけての住民一人当たりの普通建設事業費や平成26年度の普通建設事業費(うち更新整備)が類似団体平均を超えているところにも表れている。

(6)市町村目的別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

平成27年度

富山県滑川市

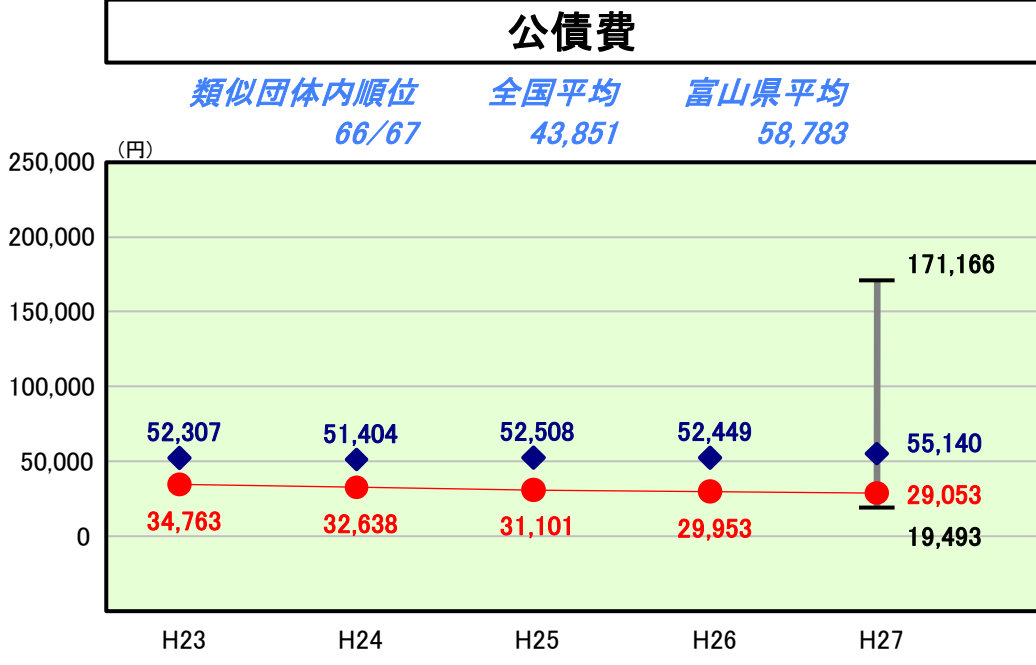
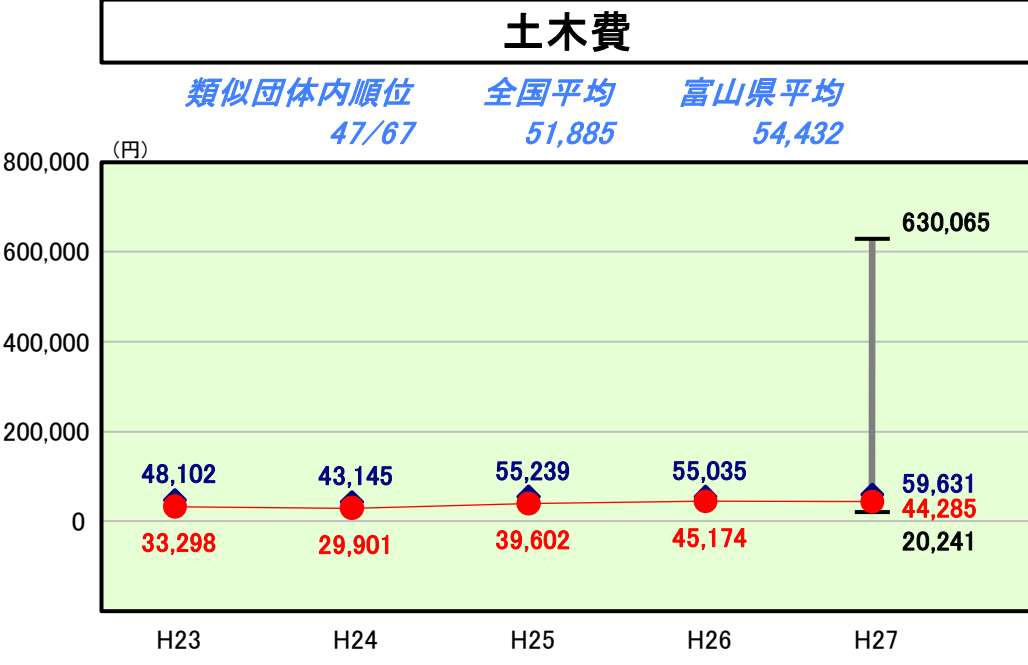
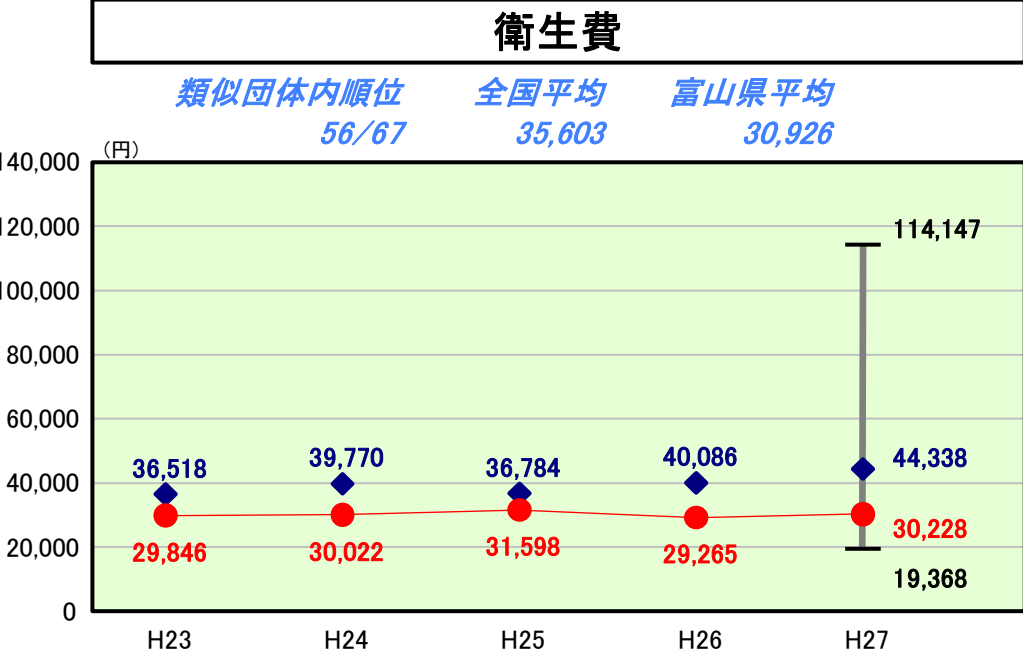
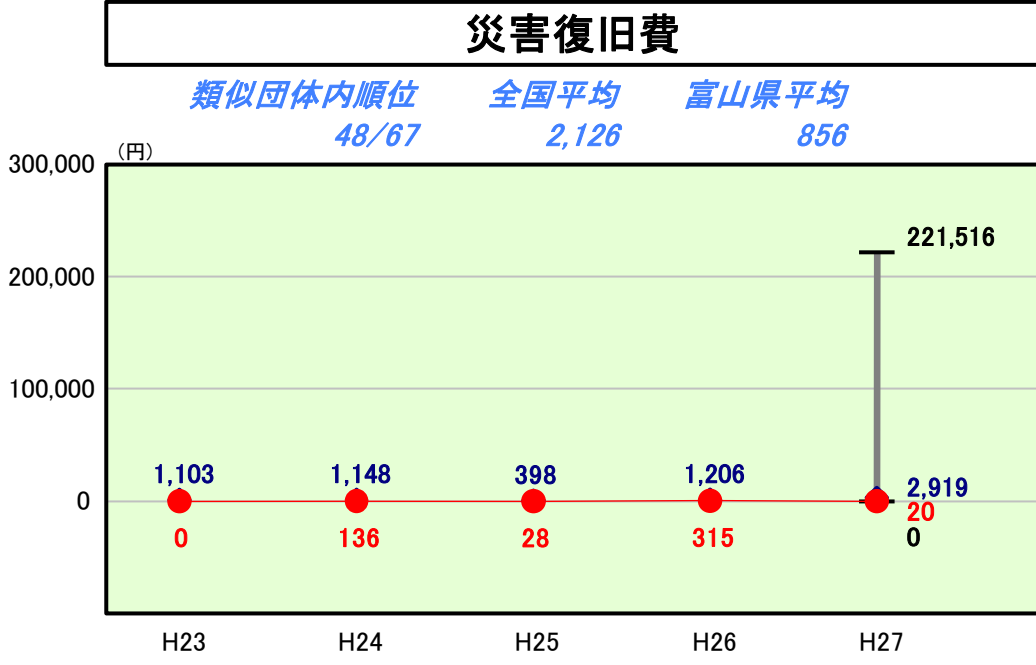
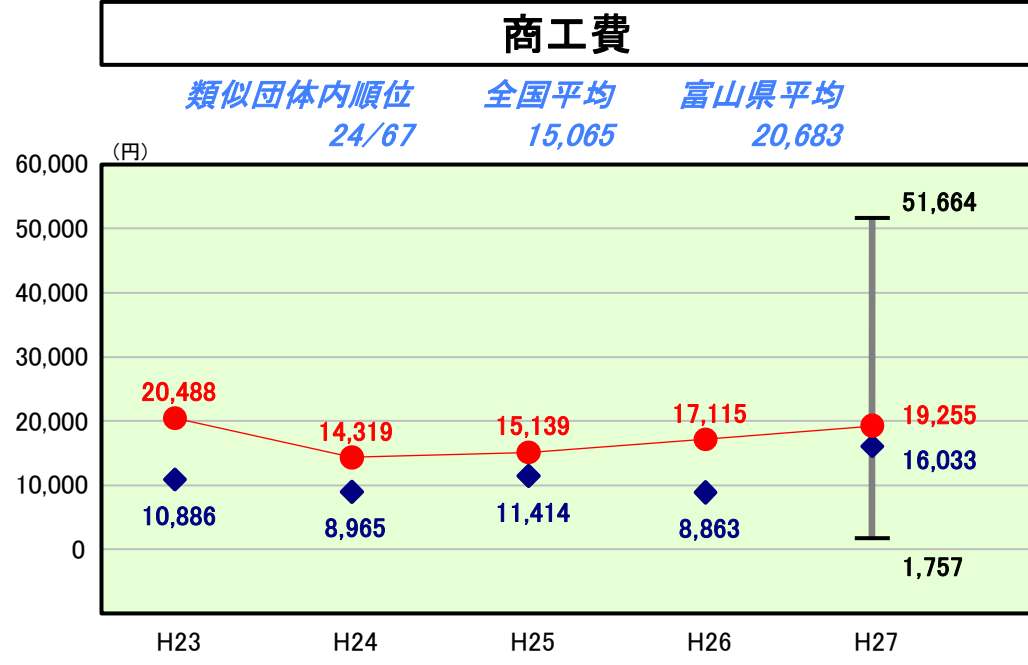
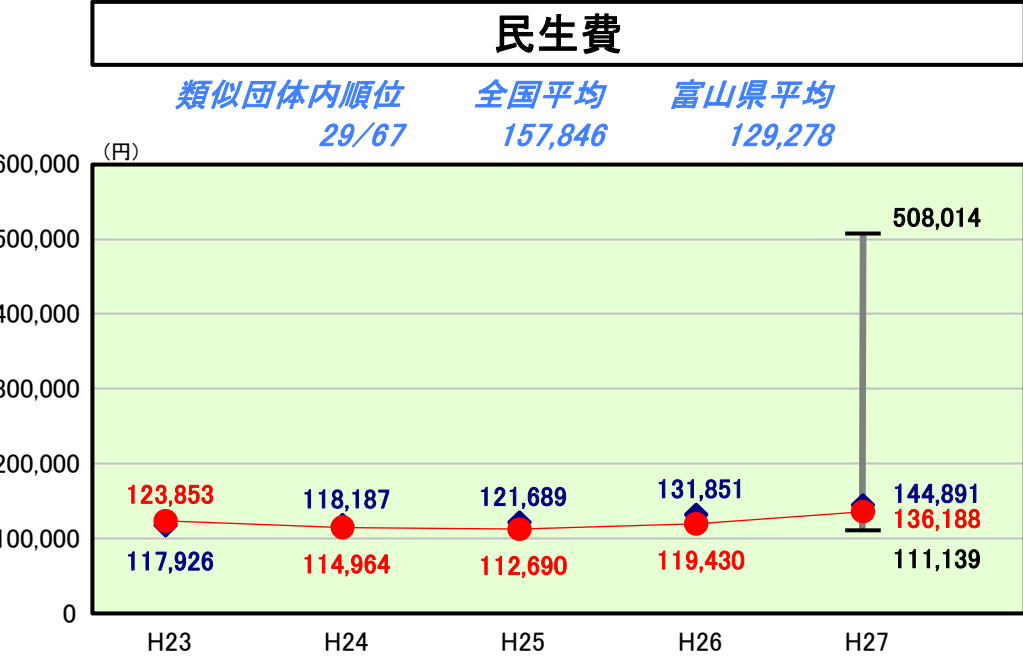
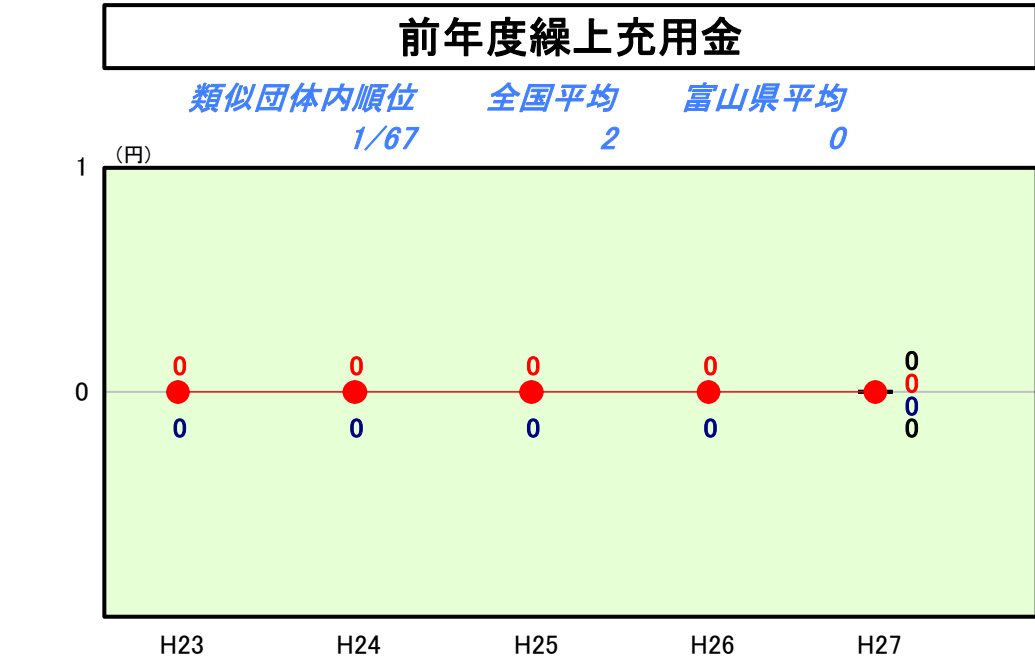
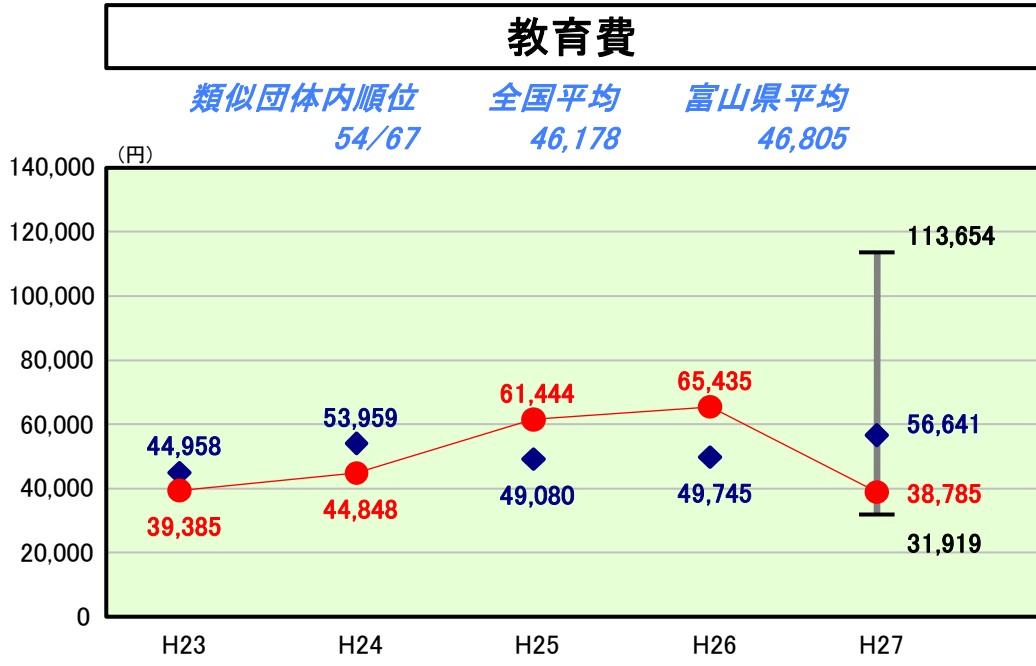
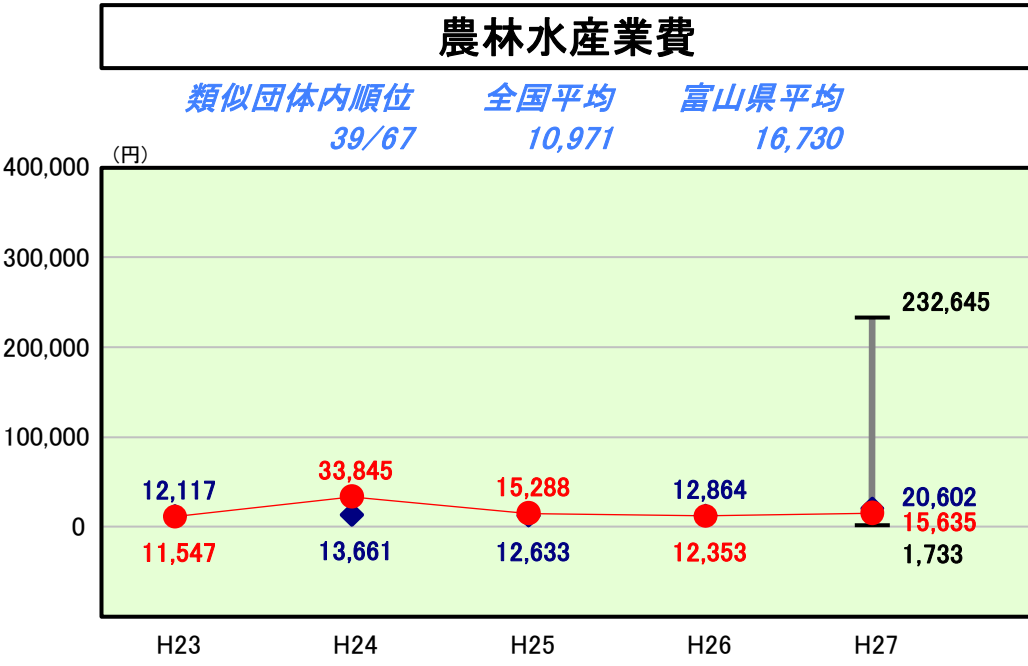
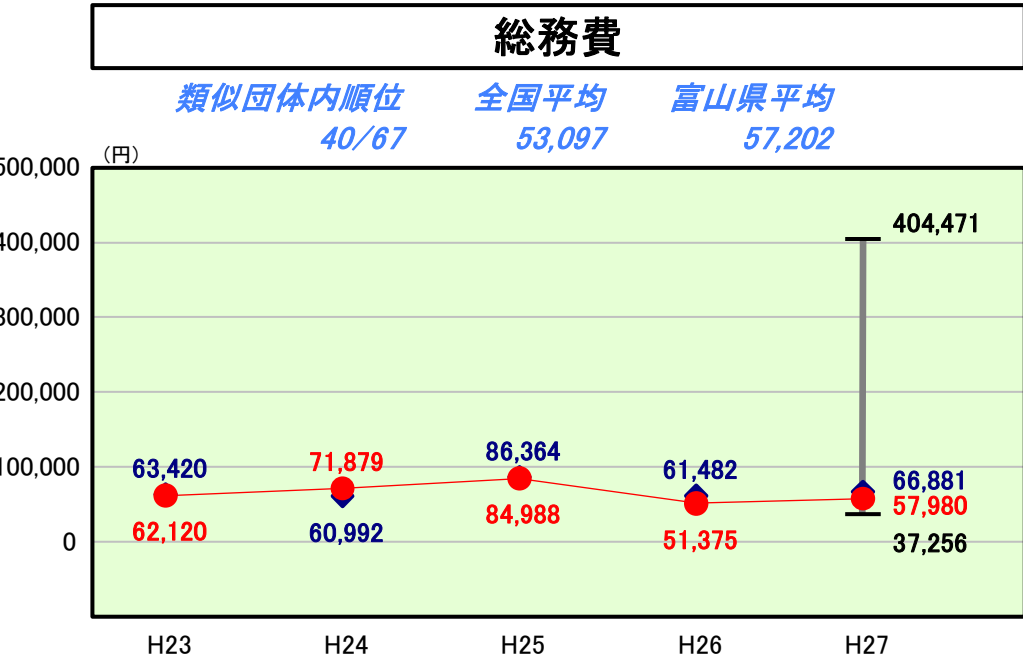
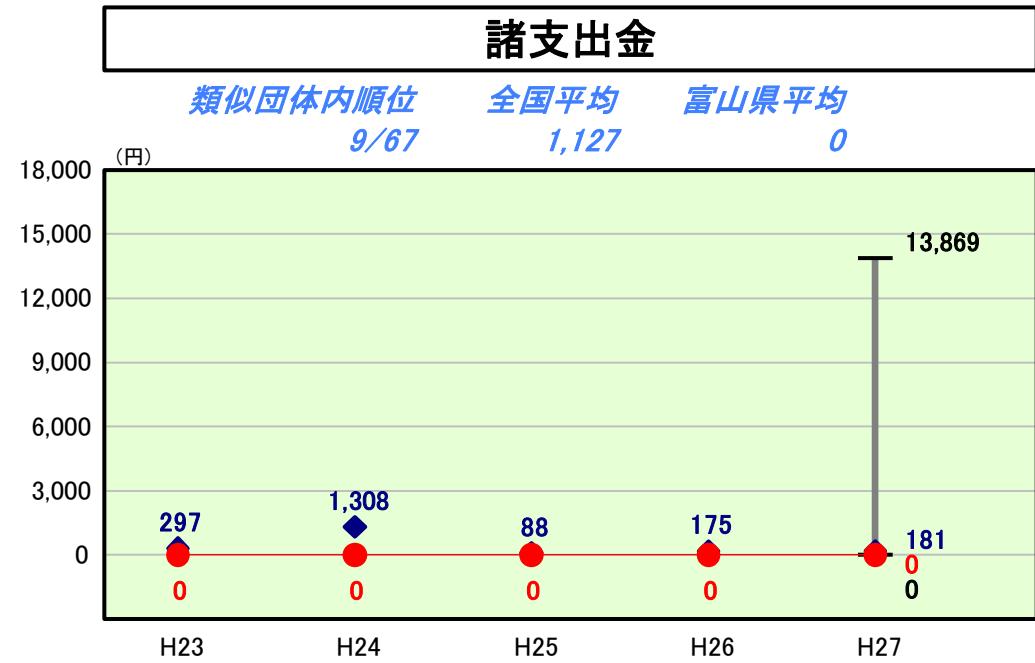
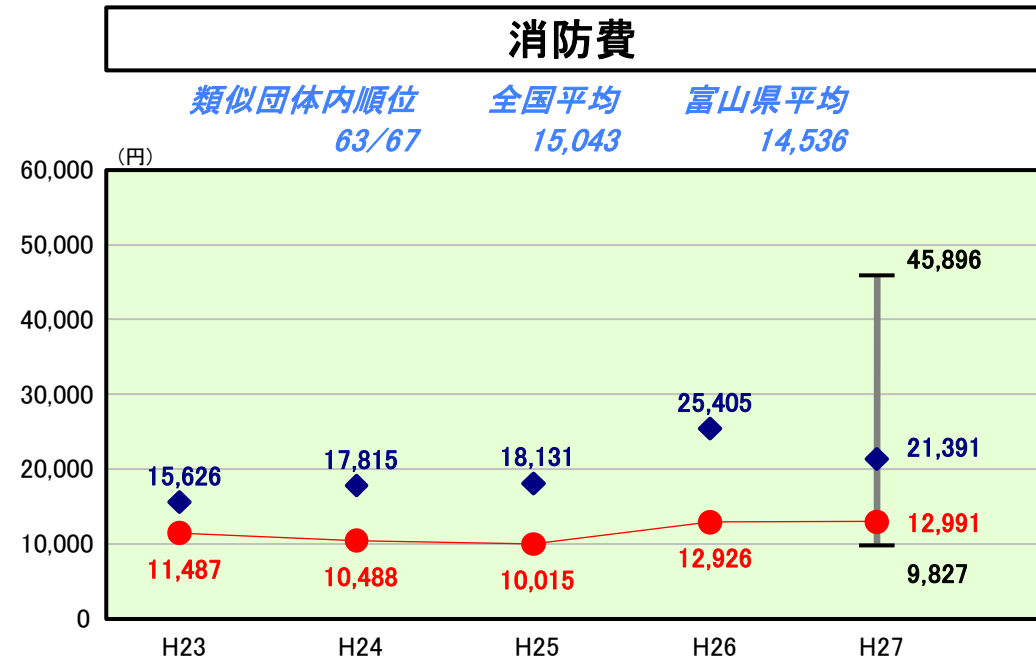
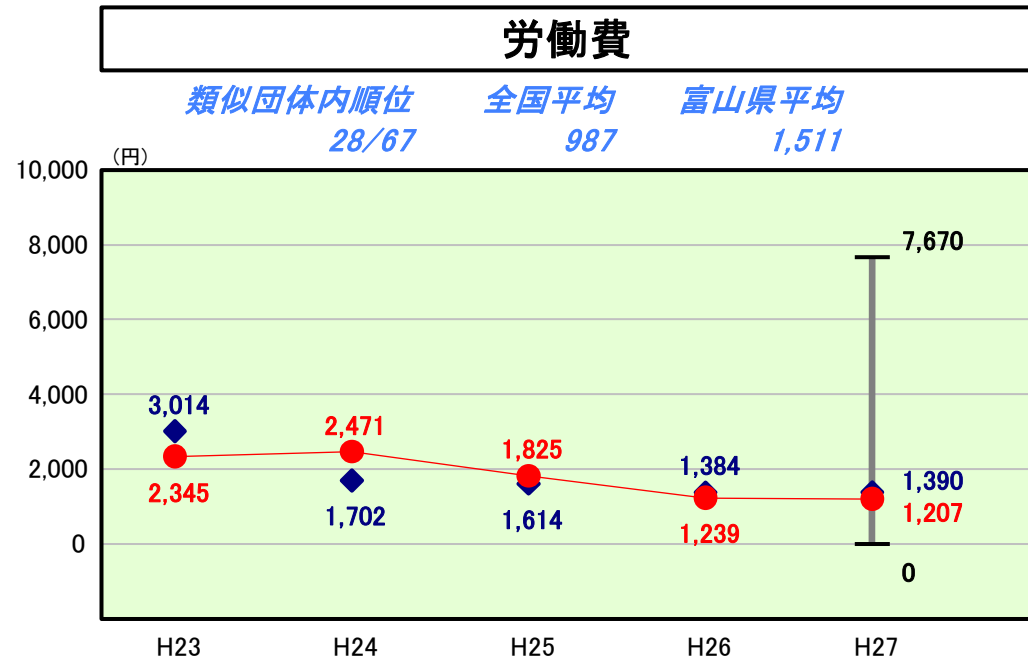
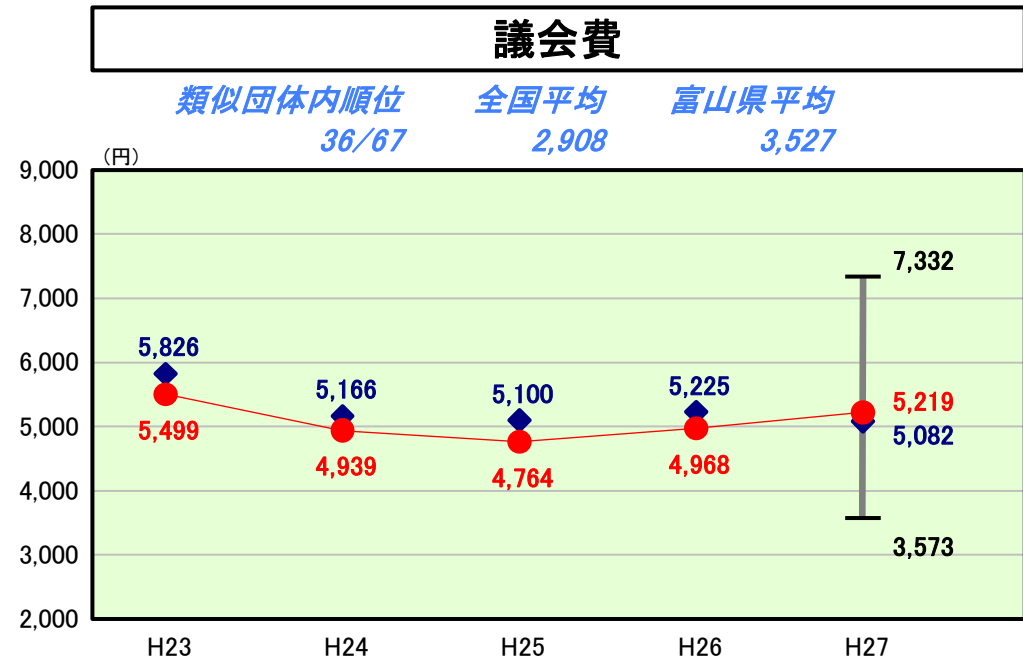
人	33,489	人(H28.1.1現在)							
うち日本	33,199	人(H28.1.1現在)							
面積	54.63	km ²							
歳入総額	14,056,442	千円							
歳出総額	13,089,041	千円							
実質収支	727,742	千円							
標準財政規模	7,750,528	千円							
地方債現在高	11,279,380	千円							

- 当該団体値
- ◆ 類似団体内平均値
- ┐ 類似団体内の
- └ 最大値及び最小値

※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。

※ 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。

※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成27年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



目的別歳出の分析欄

住民一人当たりのコストについて、類似団体平均を一貫して下回っているのは、消防費、衛生費、公債費である。うち公債費については性質別歳出決算分析表にて記載したとおりである。消防費は、消防車等の資機材について早い時期から延命化を図りつつ計画的な更新を行っていたこと、衛生費はごみ処理やし尿処理を一部事務組合で実施することにより経費を抑えていることが理由として挙げられる。

逆に商工費は住民一人当たりのコストが類似団体平均を常に上回っているが、これは工業振興を目的とした企業への助成や、中小企業への運転・設備投資に係る資金を融資する金融機関への預託、ほたるいか海上観光を始めとする各種観光事業など、市独自の商工業や観光振興事業を多く実施しているためである。特に観光については、平成27年3月の北陸新幹線開業効果を見据えて、観光客誘致に向けた事業を強化していたこともあり、近年増加が続いている。

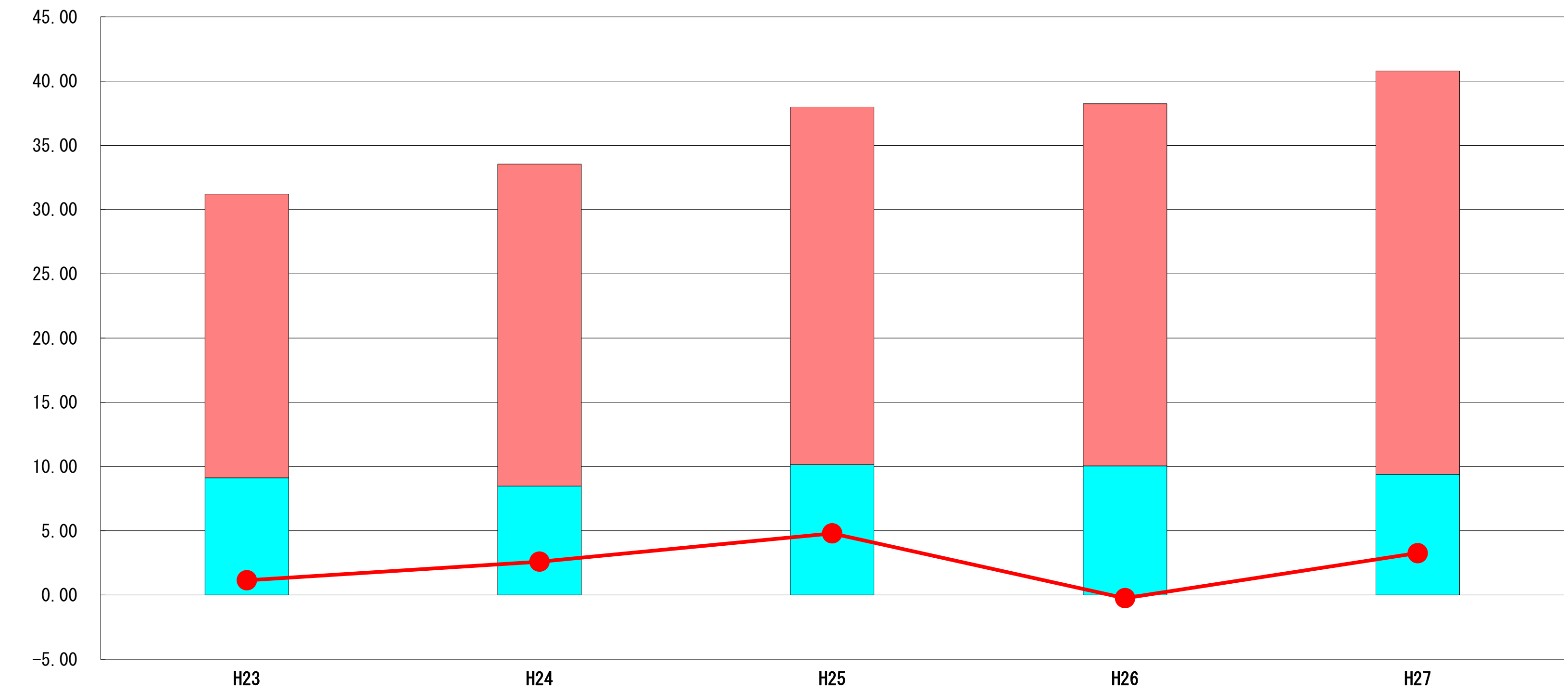
教育費は、東日本大震災を受けて、平成24年度から平成26年度の3ヶ年で、学校を始めとする教育施設の耐震化や改修を推進した影響で、多くの工事を実施した平成25年度と平成26年度の支出額が増加し、この2ヶ年のみ類似団体平均を大きく上回ることとなった。大規模な耐震化工事がほぼ完了したため、住民一人当たりのコストは平成27年度には平成23年度とほぼ同水準まで戻っている。

(7) 実質収支比率等に係る経年分析（市町村）

平成27年度

富山県滑川市

標準財政規模比（％）



		標準財政規模比（％）				
区分	年度	H23	H24	H25	H26	H27
財政調整基金残高		22.08	25.06	27.84	28.18	31.40
実質収支額		9.12	8.49	10.15	10.05	9.39
実質単年度収支		1.15	2.60	4.80	▲ 0.24	3.27

分析欄

標準財政規模に対する財政調整基金残高は31.4%と前年度より3.22ポイント増加している。これは、今後の財政需要に備えるために基金を積み増したことによるものである。また、歳出抑制に努めたことや地方消費税交付金収入の増加により、実質収支比率は9.39%となった。

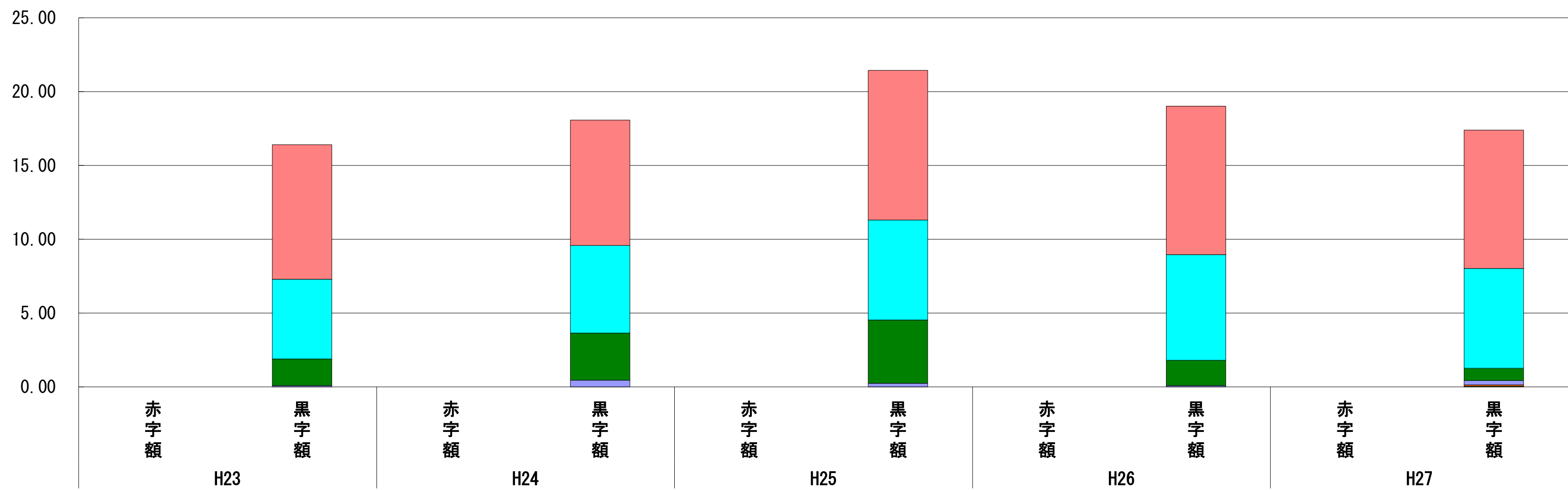
今後も行政サービスの質の維持向上に努め、事務事業の効率化を図りながら健全な財政運営に努めていきたい。

(8) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析（市町村）

平成27年度

富山県滑川市

標準財政規模比（％）



標準財政規模比（％）

会計	年度	H23	H24	H25	H26	H27
一般会計		9.12	8.49	10.14	10.05	9.38
水道事業会計		5.39	5.93	6.76	7.15	6.74
国民健康保険事業特別会計		1.81	3.20	4.29	1.72	0.84
介護保険事業特別会計		0.09	0.45	0.25	0.09	0.30
下水道事業特別会計		0.00	0.00	0.00	0.00	0.09
後期高齢者医療事業特別会計		0.00	0.00	0.00	0.00	0.05
工業団地造成事業特別会計		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
農業集落排水事業特別会計		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他会計（赤字）		-	-	-	-	-
その他会計（黒字）		-	-	-	-	-

分析欄

平成27年度において各会計に赤字額は生じていないものの、高齢社会の進行に伴う医療費や介護給付費の増加などにより、国民健康保険事業特別会計や介護保険事業特別会計などの医療介護系特別会計への繰出金は年々増加傾向にある。

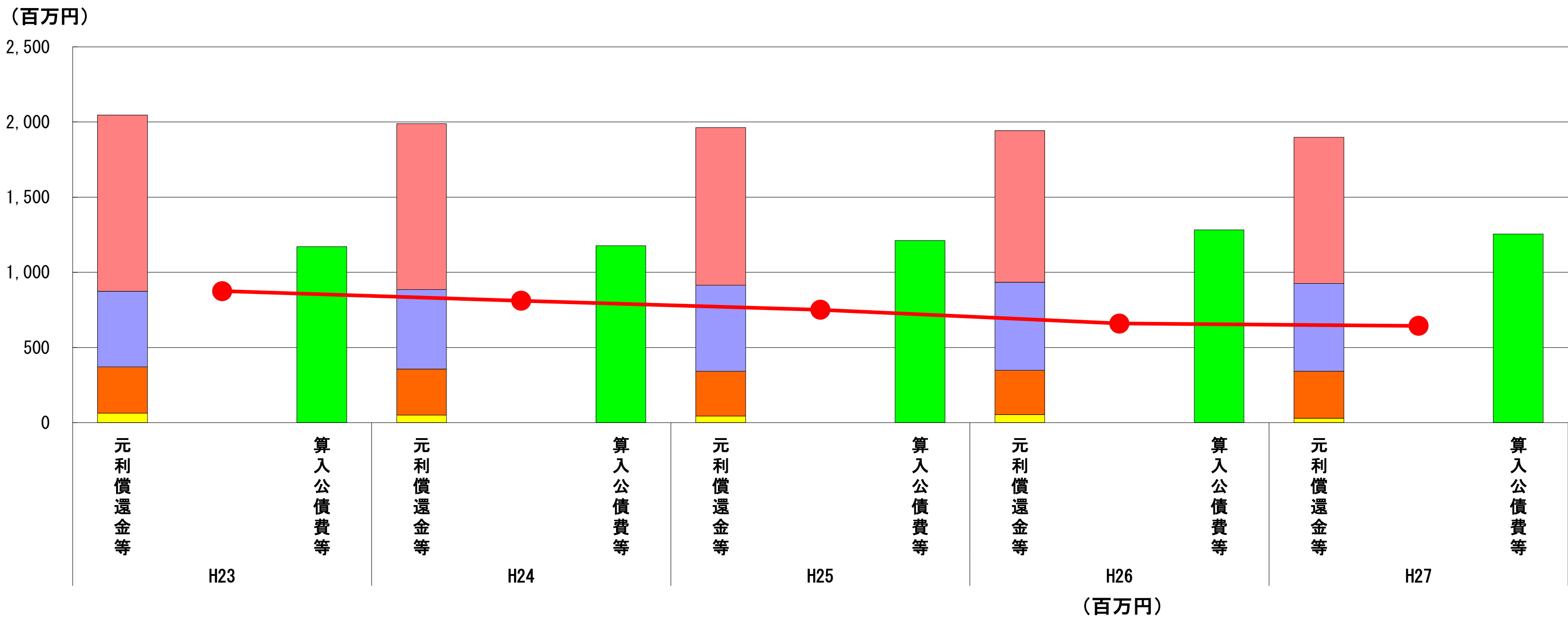
健康寿命延伸のために予防事業について積極的に施策を推進しているところであるが、今後も引き続き医療費の抑制を通じ、市財政に及ぼす影響の軽減に努めていく。

※平成28年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく連結実質赤字比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(9) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

平成27年度

富山県滑川市



分子の構造		年度	H23	H24	H25	H26	H27
元利償還金等 (A)	元利償還金		1,172	1,104	1,049	1,009	973
	減債基金積立不足算定額		-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		-	-	-	-	-
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		503	528	571	585	584
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		308	306	299	295	312
	債務負担行為に基づく支出額		63	51	44	54	30
	一時借入金の利子		-	-	-	-	-
算入公債費等 (B)	算入公債費等		1,171	1,178	1,212	1,283	1,255
(A) - (B)	実質公債費比率の分子		875	811	751	660	644

分析欄

地域総合整備事業債や、厚生福祉施設整備事業債、中学校の改築に充てた一般単独事業債などの償還が終了し、元利償還金の額は年々減少してきた。しかしながら、公共施設の耐震化のために発行した地方債の償還が始まり、平成28年度は元利償還金が増加に転じる見込みである。また、消防広域化に伴う施設整備などのために組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金や、公営企業債等も増加する見込みである。

これらのことから、新規地方債の発行にあたっては慎重な対応に努め、健全な財政運営を行っていく。

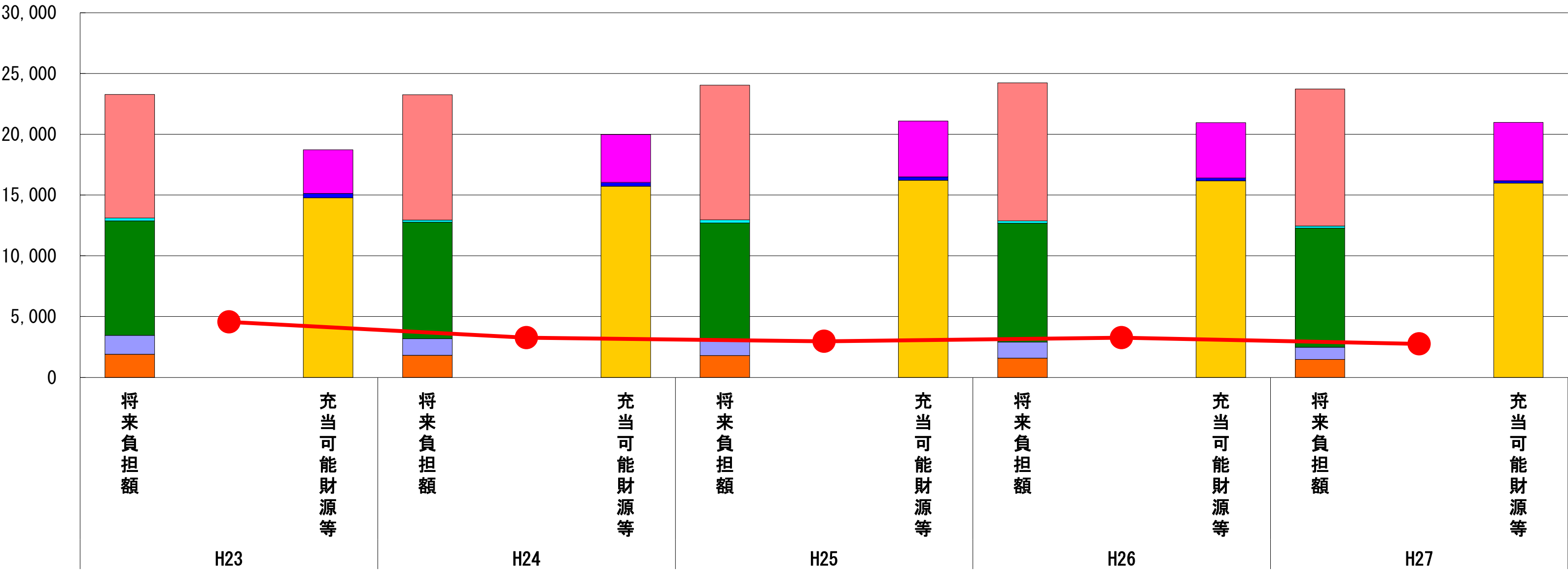
※平成28年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(10) 将来負担比率（分子）の構造（市町村）

平成27年度

富山県滑川市

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H23	H24	H25	H26	H27
将来負担額 (A)	一般会計等に係る地方債の現在高		10,169	10,322	11,082	11,345	11,279
	債務負担行為に基づく支出予定額		220	171	265	207	162
	公営企業債等繰入見込額		9,428	9,576	9,553	9,784	9,820
	組合等負担等見込額		1,555	1,361	1,358	1,312	989
	退職手当負担見込額		1,900	1,828	1,788	1,581	1,480
	設立法人等の負債額等負担見込額		-	-	-	-	-
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
	組合等連結実質赤字額負担見込額		-	-	-	-	-
充当可能財源等 (B)	充当可能基金		3,590	3,940	4,586	4,552	4,795
	充当可能特定歳入		355	318	291	246	197
	基準財政需要額算入見込額		14,777	15,734	16,208	16,167	15,987
(A) - (B)		将来負担比率の分子	4,552	3,265	2,961	3,265	2,750

分析欄

一部事務組合が起こした地方債に係る償還金負担見込額や退職手当負担見込額が減少したこと、また将来の負担に備えて財政調整基金などに積み増しを行い、充当可能基金の残高を増加させたことなどにより、将来負担比率の分子は減少した。

しかしながら、全国的にみると依然として高い水準にあることから、引き続き行財政改革を推進し、より健全な財政運営に努めていく。

※平成28年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(11)市町村公会計指標分析／財政指標組合せ分析表

平成27年度

富山県滑川市

人	33,489	人(H28.1.1現在)	実 質 赤 字 比 率	-	%
う ち 日 本 人	33,199	人(H28.1.1現在)	連 結 実 質 赤 字 比 率	-	%
面 積	54.63	km ²	実 質 公 債 費 比 率	10.5	%
歳 入 総 額	14,056,442	千円	将 来 負 担 比 率	42.1	%
歳 出 総 額	13,089,041	千円	市 町 村 類 型	H23 I-2 H24 I-2 H25 I-2	
実 質 収 支	727,742	千円	(年 度 毎)	H26 I-2 H27 I-2	
標 準 財 政 規 模	7,750,528	千円			
地 方 債 現 在 高	11,279,380	千円			

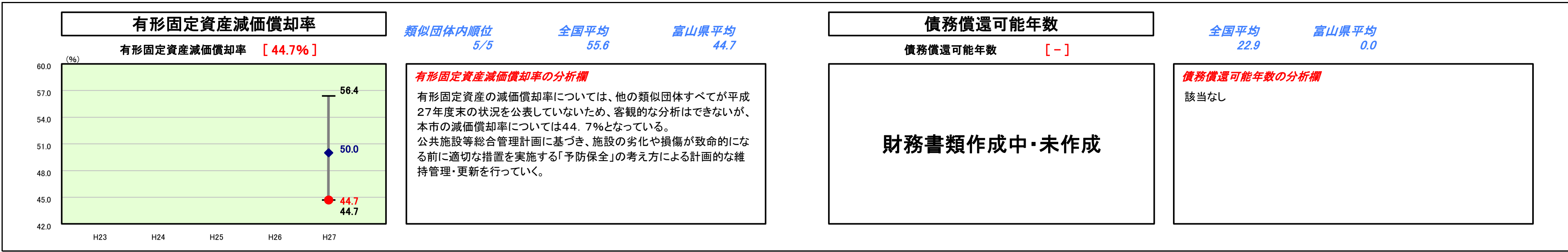


※ 有形固定資産減価償却率は平成28年10月1日時点で固定資産台帳を整備済みの団体について、債務償還可能年数は平成28年10月1日時点で統一的な基準による財務書類を作成済みの団体について、数値を記載している。

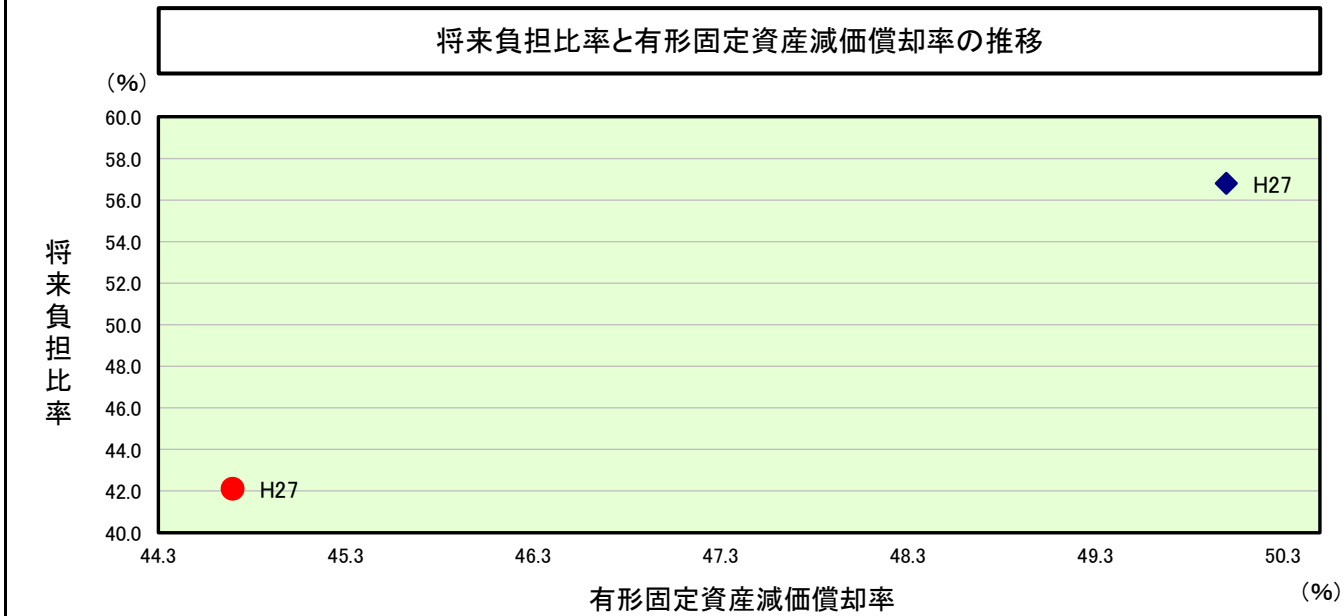
※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。

※ 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に記載されている人口を記載。

※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成27年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



将来負担比率及び有形固定資産減価償却率の組合せによる分析



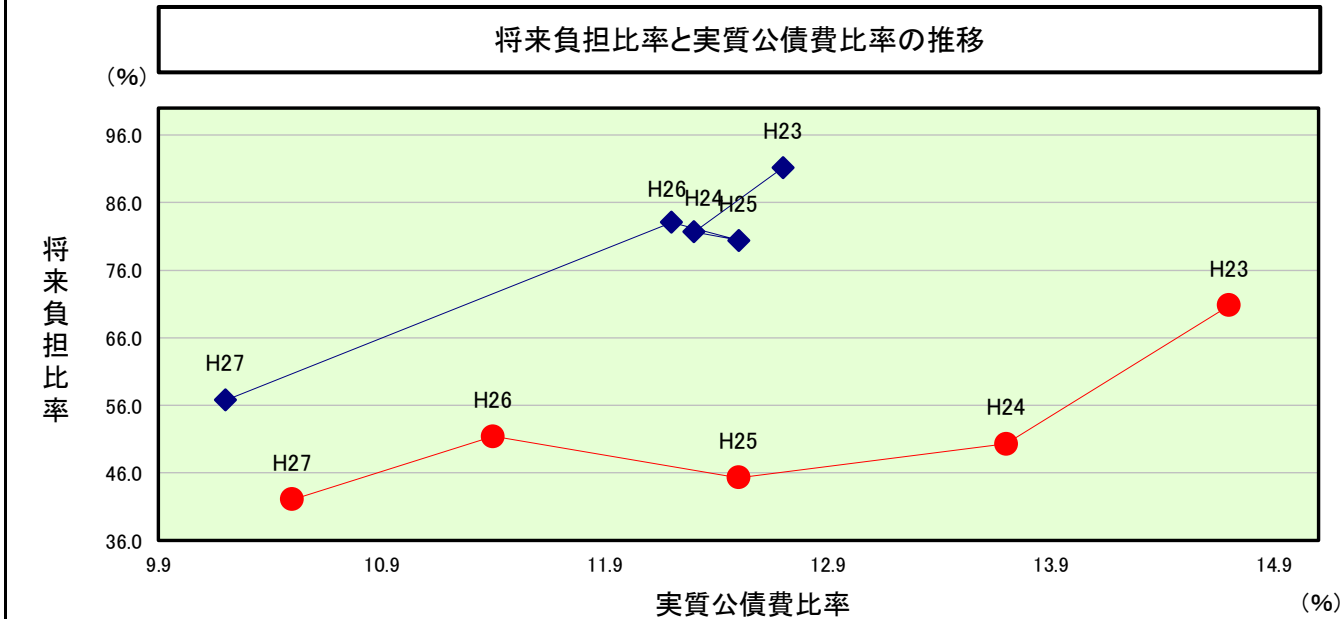
分析欄

近年は将来負担比率の算出対象となる将来負担額が減少傾向にあること、各基金へ積み増しを行ったことなどから、将来負担比率は42.1%となっているところである。しかしながら、土地改良事業などの将来にわたる新たな債務の発生や、社会保障関係費の急激な増加に対応するための基金取り崩しを伴う財政運営が余儀なくされると想定しており比率の上昇は避けられないものと考えている。有形固定資産の減価償却率については44.7%となっているものの、現在有する公共建築物について建替えを予定しているものではなく、今後も数値は上昇し続けるものと見込まれ、公共施設等総合管理計画に基づく「予防保全」に努めることとしている。将来にわたる債務の償還や固定資産の維持管理に多額の費用が必要と考えており、行財政改革を通じて資金の確保に努めて行きたい。

(参考)

		H23	H24	H25	H26	H27
当該団体値	将来負担比率					42.1
	有形固定資産減価償却率					44.7
類似団体内平均値	将来負担比率					56.8
	有形固定資産減価償却率					50.0

将来負担比率及び実質公債費比率の組合せによる分析



分析欄

将来負担比率については、将来負担額が減少傾向にあることや各基金へ積み増しを行ったことなどから近年は減少傾向にある。実質公債費比率については、地域総合整備事業債の償還が終了したことや一部事務組合等が発行した地方債への負担が減少したことから、数値が改善している。将来負担比率については、前述のとおり上昇が見込まれており、実質公債費比率についても、庁舎や学校などの耐震化を行うために発行した地方債の償還が本格的になることから、今後は上昇するものと見込んでいる。

(参考)

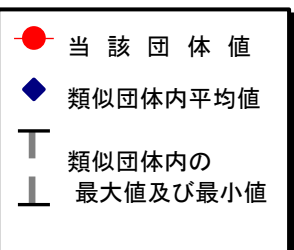
		H23	H24	H25	H26	H27
当該団体値	将来負担比率	70.8	50.3	45.3	51.4	42.1
	実質公債費比率	14.7	13.7	12.5	11.4	10.5
類似団体内平均値	将来負担比率	91.2	81.7	80.4	83.1	56.8
	実質公債費比率	12.7	12.3	12.5	12.2	10.2

(12)ー1市町村施設類型別ストック情報分析表①

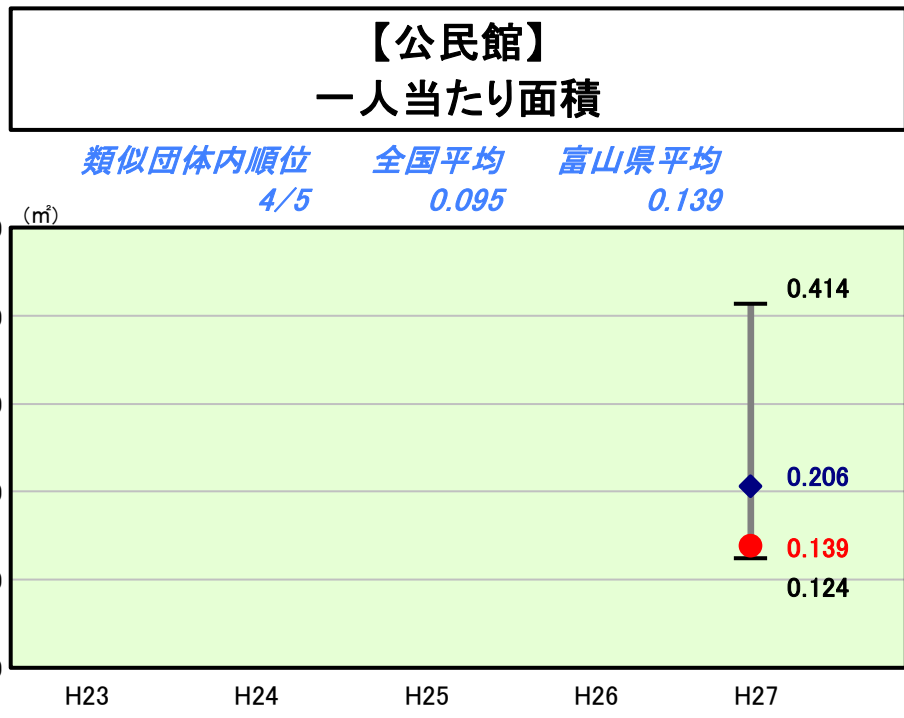
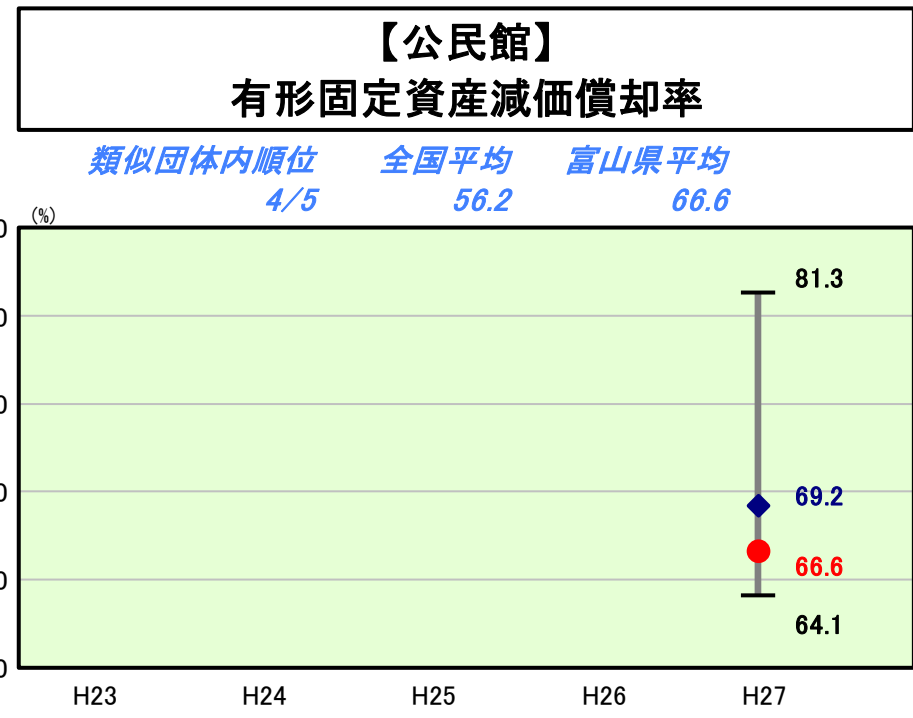
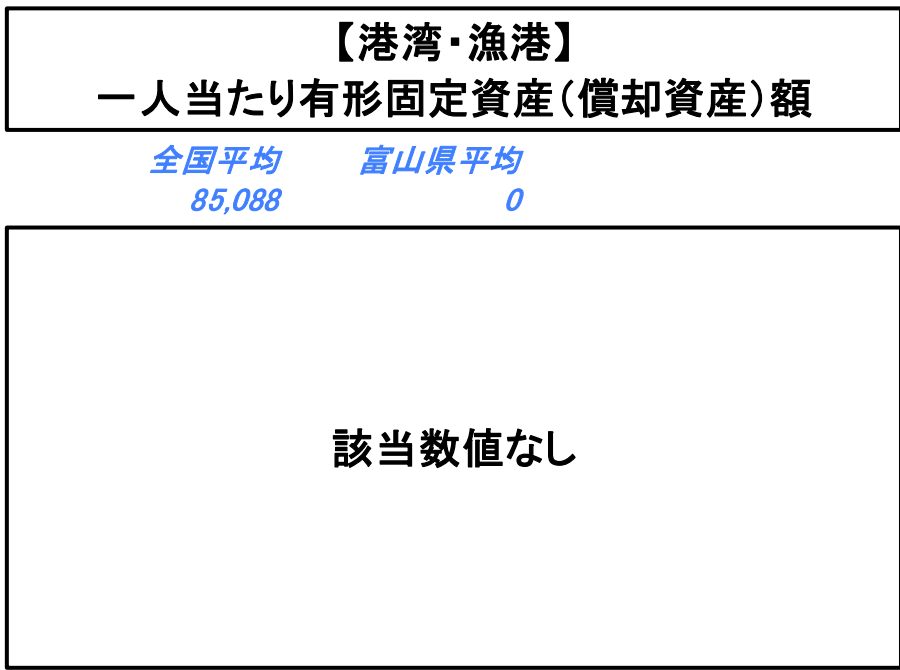
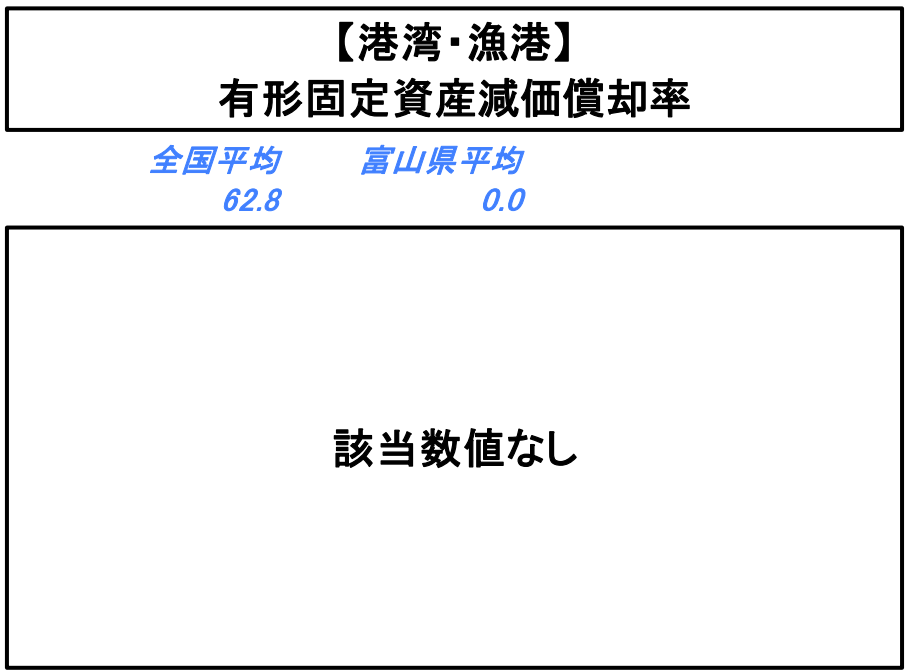
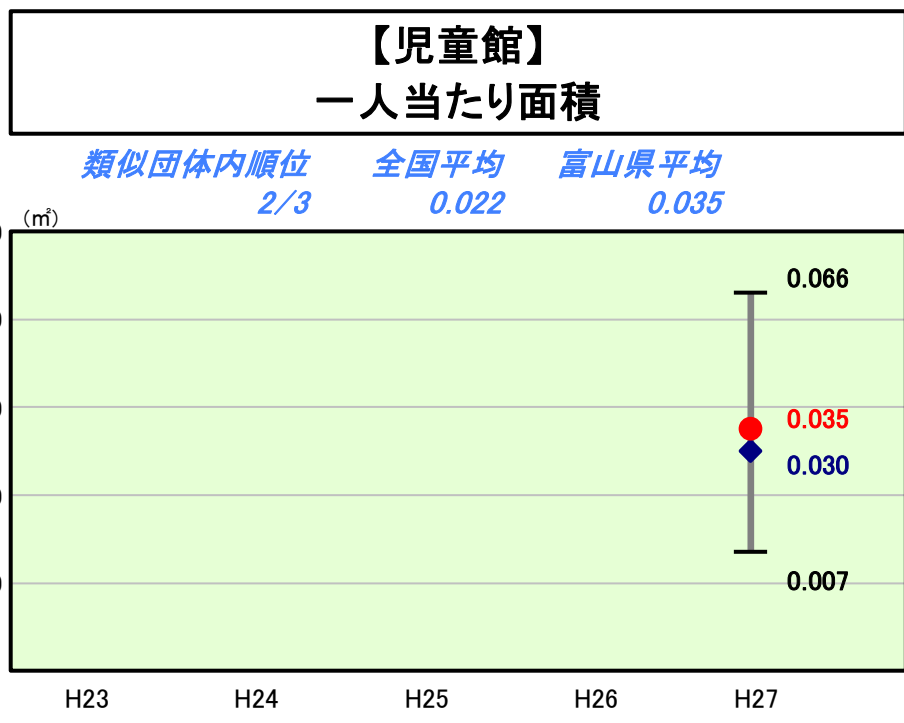
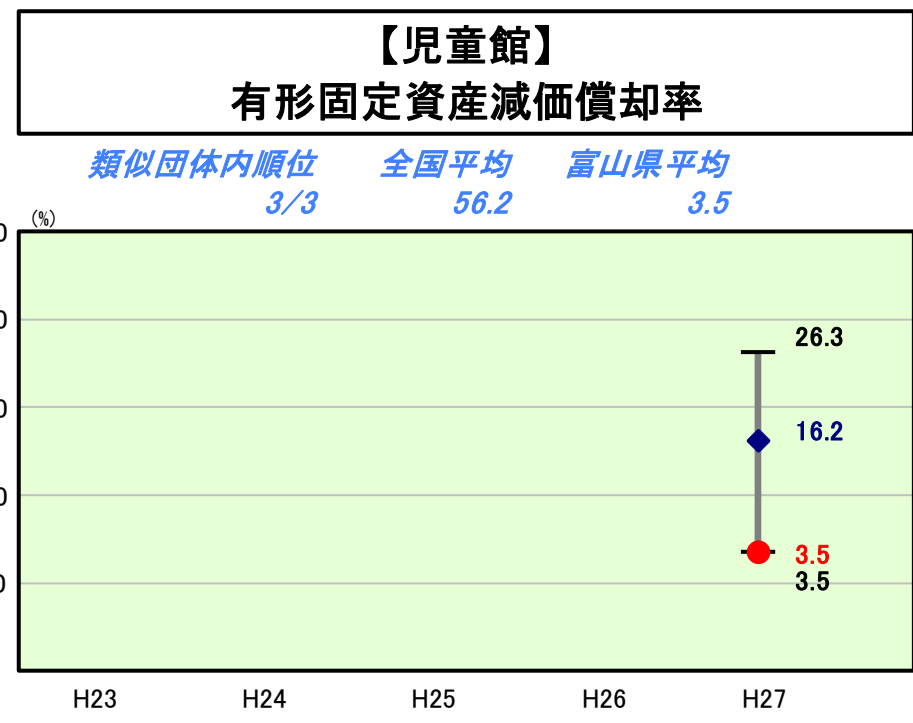
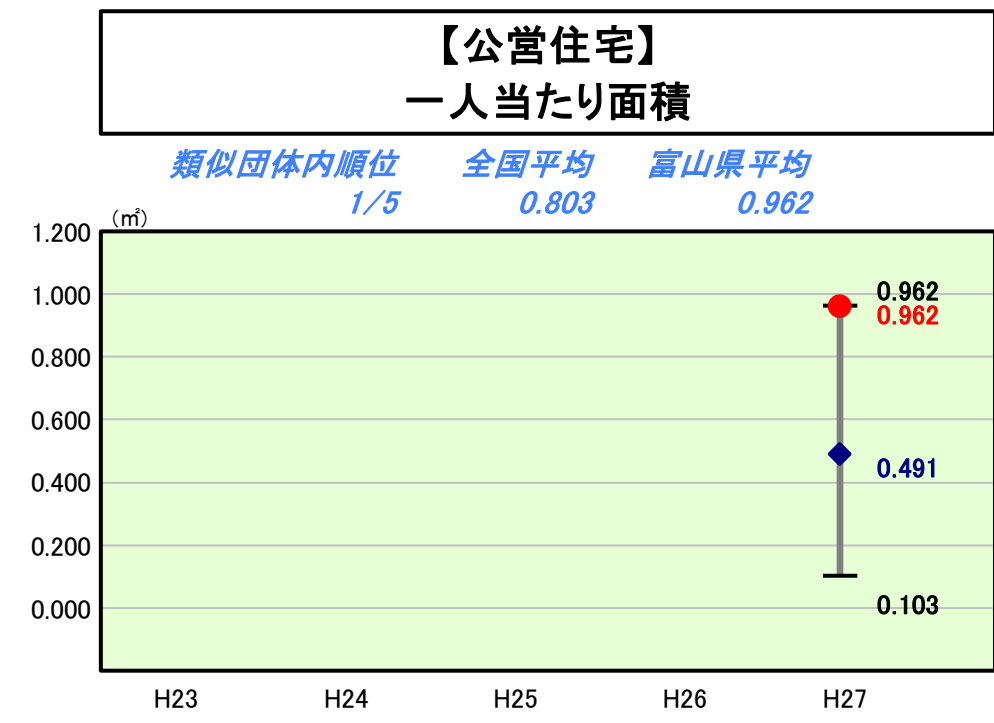
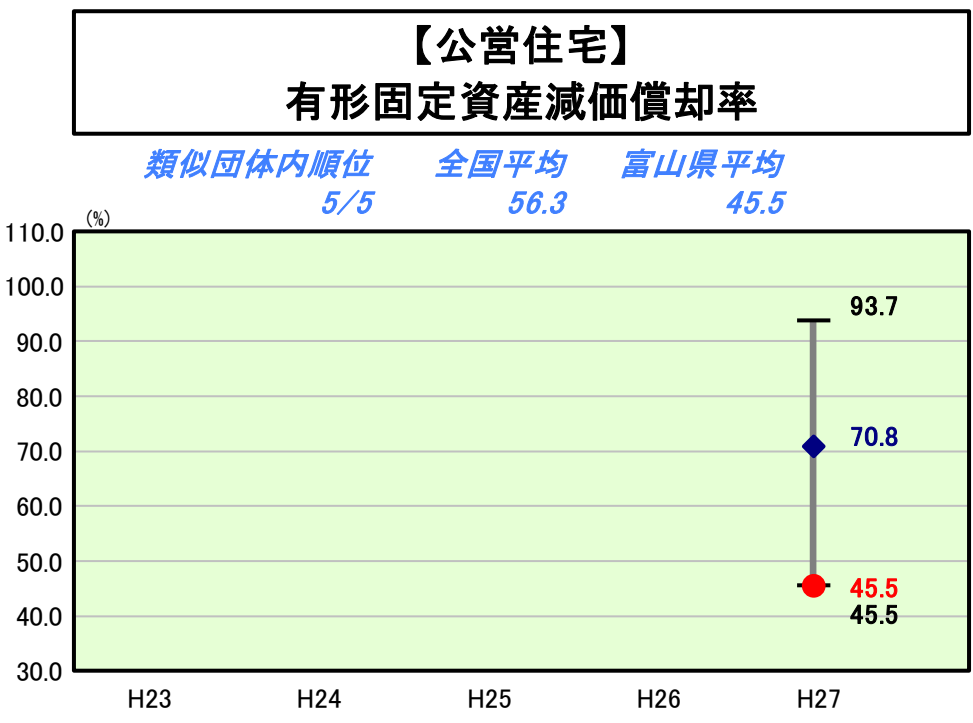
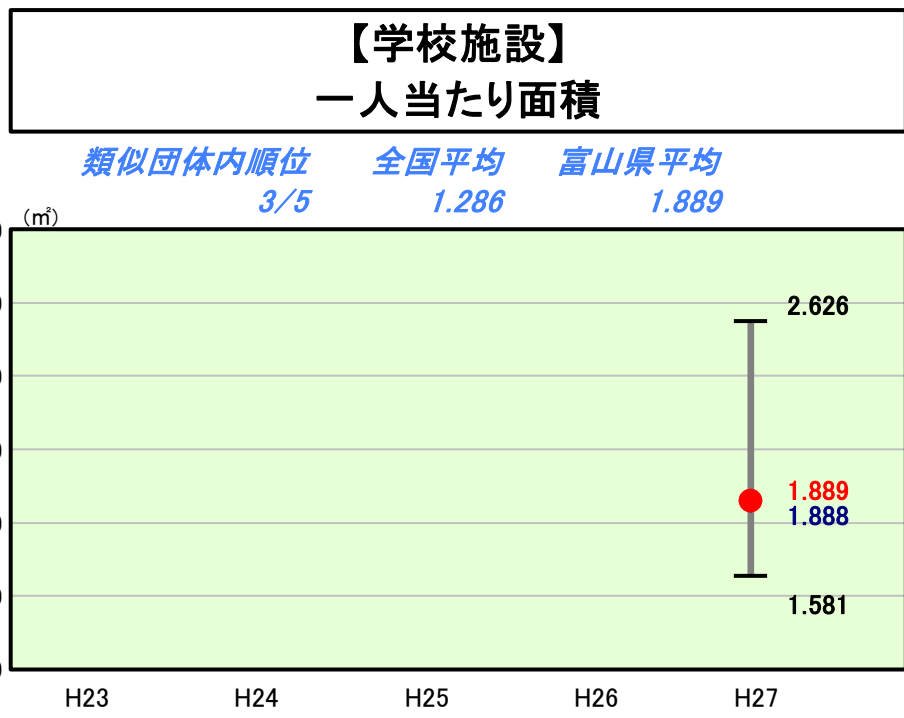
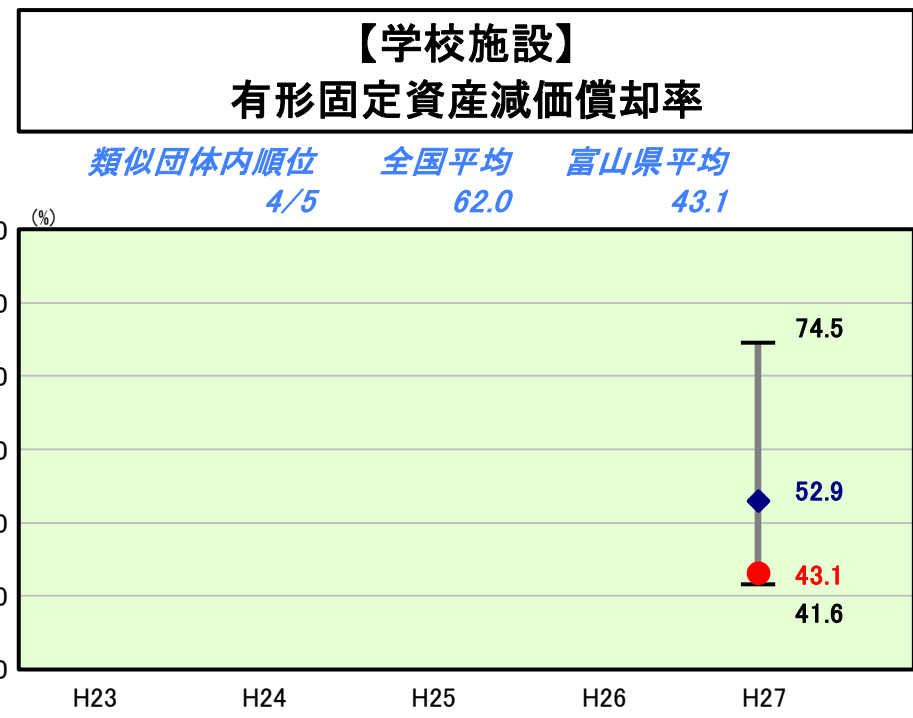
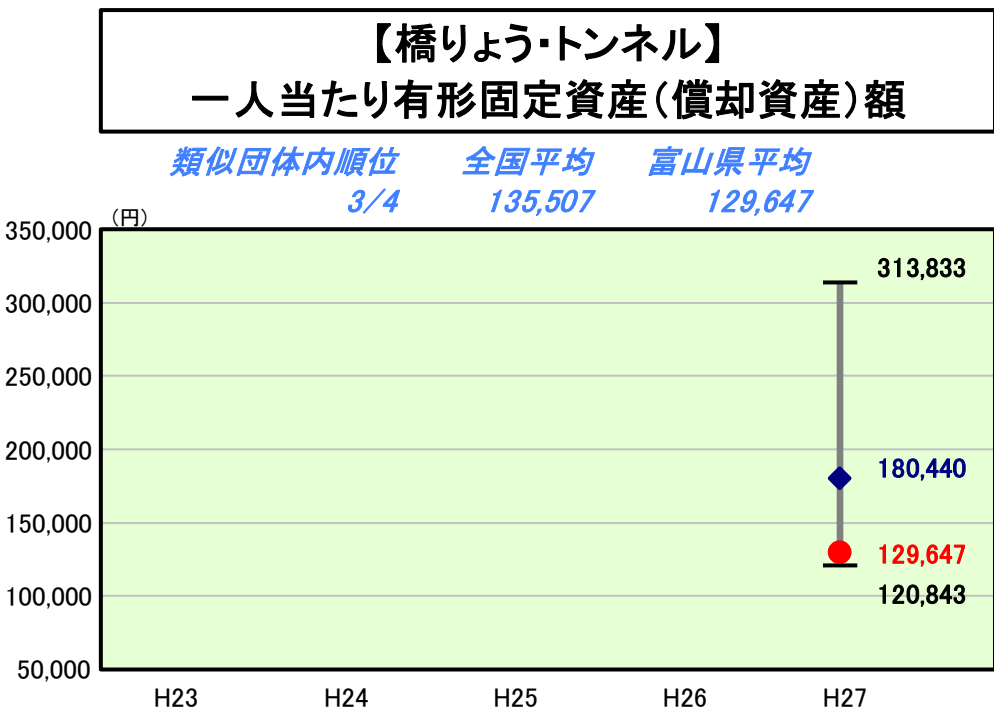
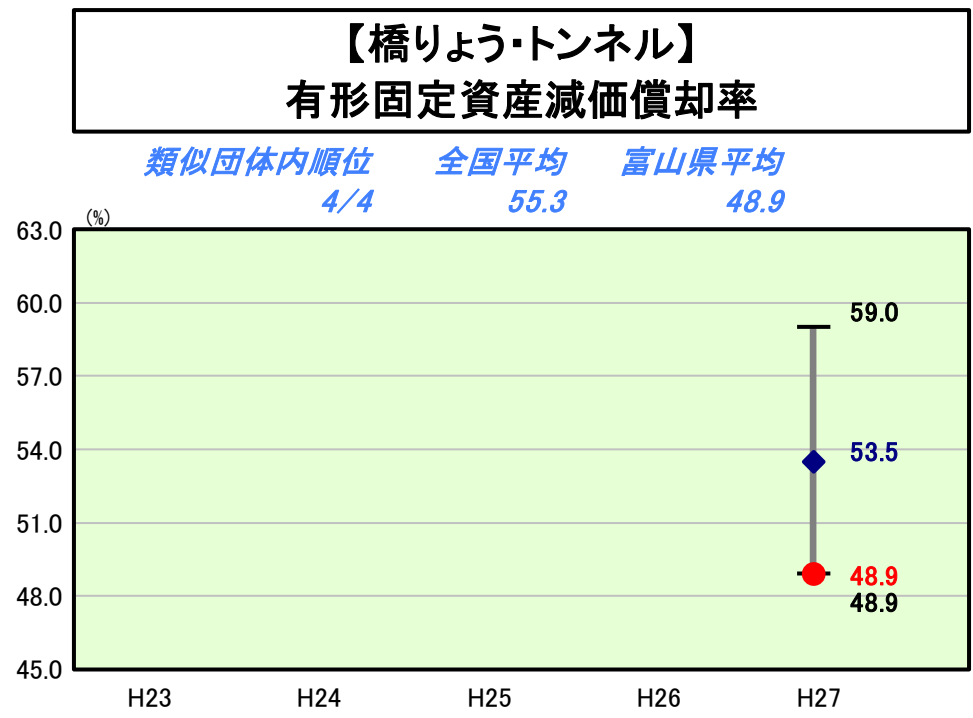
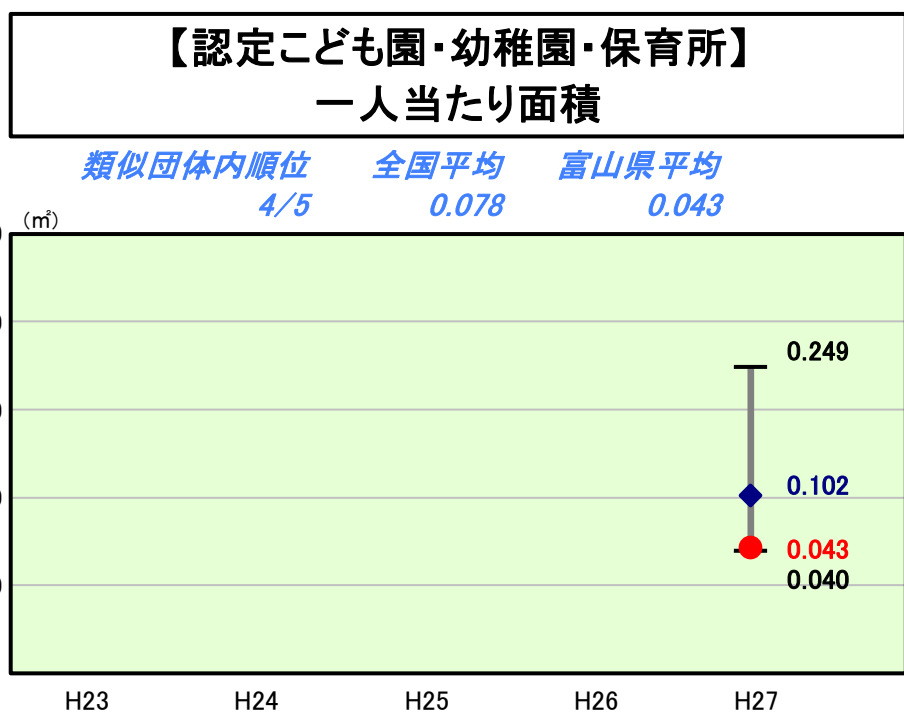
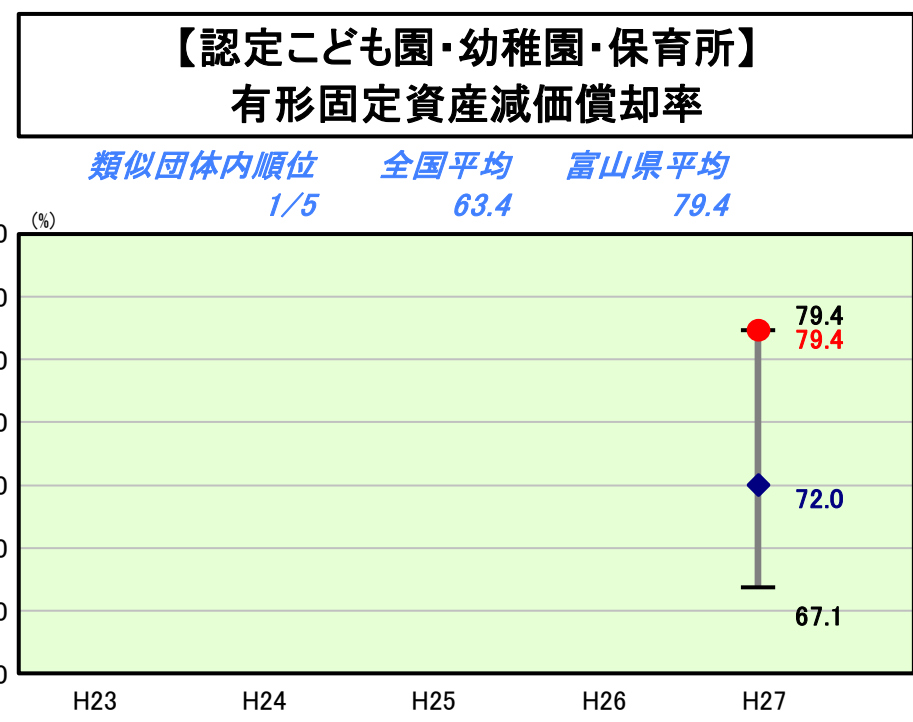
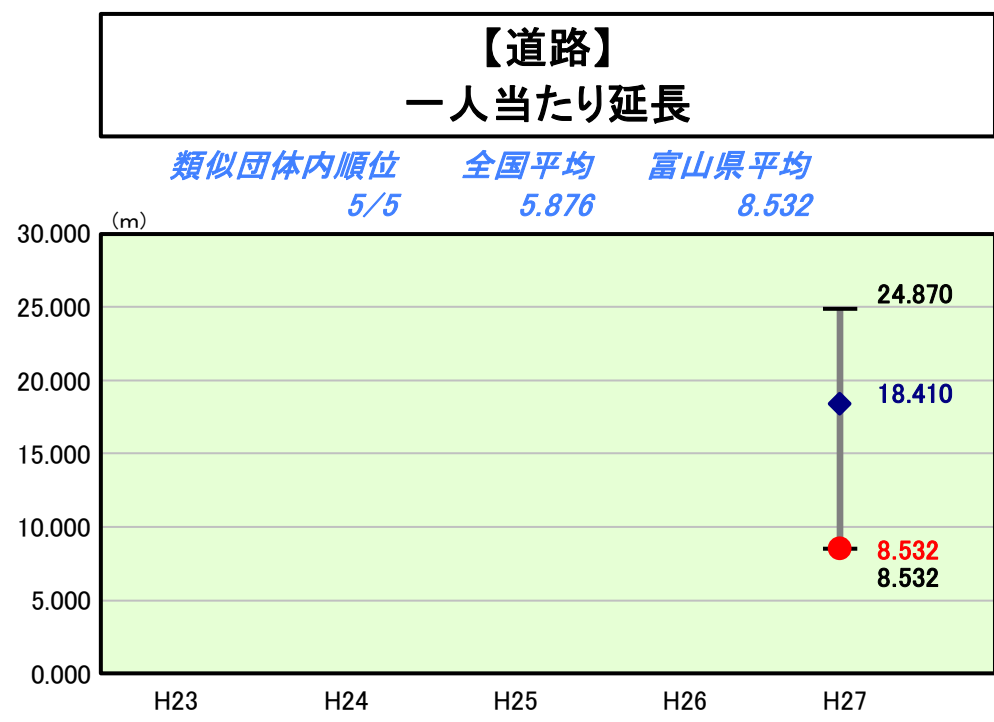
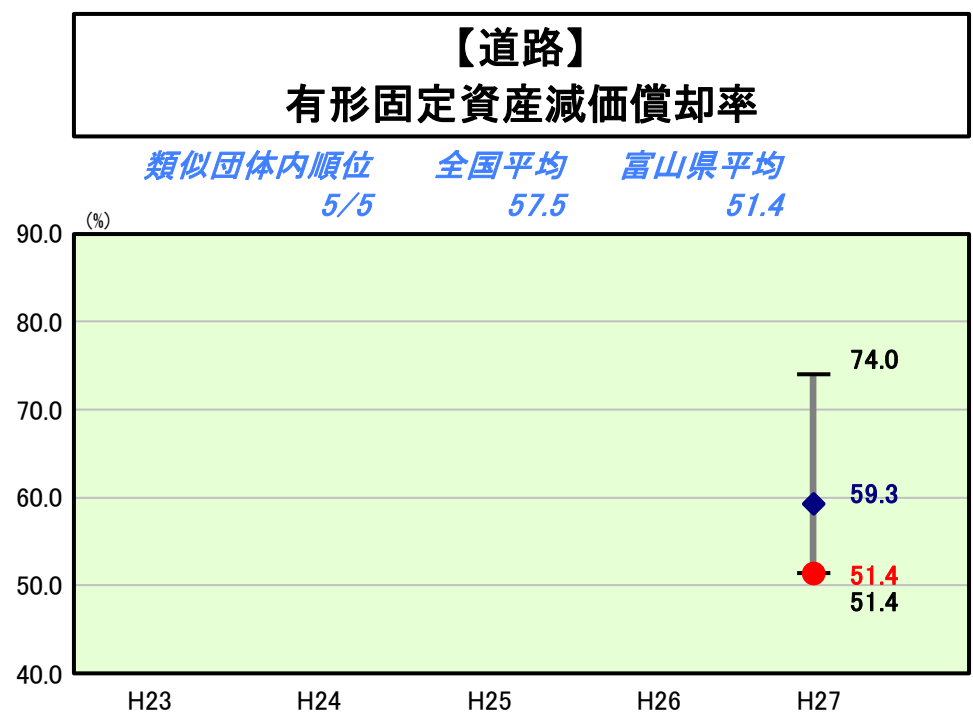
平成27年度

富山県滑川市

人	33,489	人(H28.1.1現在)	実	質	赤	字	比	率	-	%
うち日本	33,199	人(H28.1.1現在)	連	結	実	質	赤	字	比	率
面積	54.63	km ²	実	質	公	債	費	比	率	10.5
歳入総額	14,056,442	千円	得	来	負	担	比	率	42.1	%
歳出総額	13,089,041	千円	市	町	村	類	型		H23	Iー2
実質収支	727,742	千円	(	年	度	毎	)		H26	Iー2
標準財政規模	7,750,528	千円							H27	Iー2
地方債現在高	11,279,380	千円								



※ 平成28年10月1日時点で固定資産台帳を整備済みの団体について、数値を記載している。
※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
※ 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に記載されている人口を記載。
※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成27年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



施設情報の分析欄

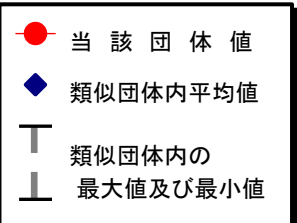
【道路】道路については、高度経済成長期や区画整理事業などに伴い整備を行っており、減価償却率については、51.4%となっている。一人あたりの延長は8.532mであるが、これは市域面積が比較的小さく、道路延長そのものが類似団体に比べ短いためである。
【橋りょう】橋りょうについては、「滑川市橋梁長寿命化修繕計画」に従い、修繕、補強などを行い、適切な維持管理を行うこととしている。
【公営住宅】公営住宅については、すべての住宅について耐震性を有しており、予防保全の考え方に従い適切な維持管理を行うことで施設の長寿命化をはかることとしている。
【保育所】保育所については、私立保育所が7か所、市立保育所が2か所となっており、市有保育所が少ないことから人ロ一人あたりの面積は0.043m²と少なくなっている。市立保育所のうち1か所が昭和52年度の建設となっていることから減価償却率が高くなっている。
【学校施設】小学校7校、中学校2校を有しているが、比較的建築年度が浅いものが多いことから、減価償却率は43.1%となっている。すべての小中学校において耐震化は完了しており、今後必要となる中学校の大規模改造などについては予防保全の考え方にに基づき、適切な時期に計画的に行うこととしている。
【児童館】昭和41年度に建設した児童館については、平成27年度に更新を行ったところである。古い児童館は平成28年度に解体することとしている。
【公民館】各地区公民館については、減価償却率が66.6%となっているが、大規模修繕にあわせ耐震化も終了しており、今後とも予防保全の考え方に従い、適切な維持管理を行っていくこととしている。

(12)-2市町村施設類型別ストック情報分析表②

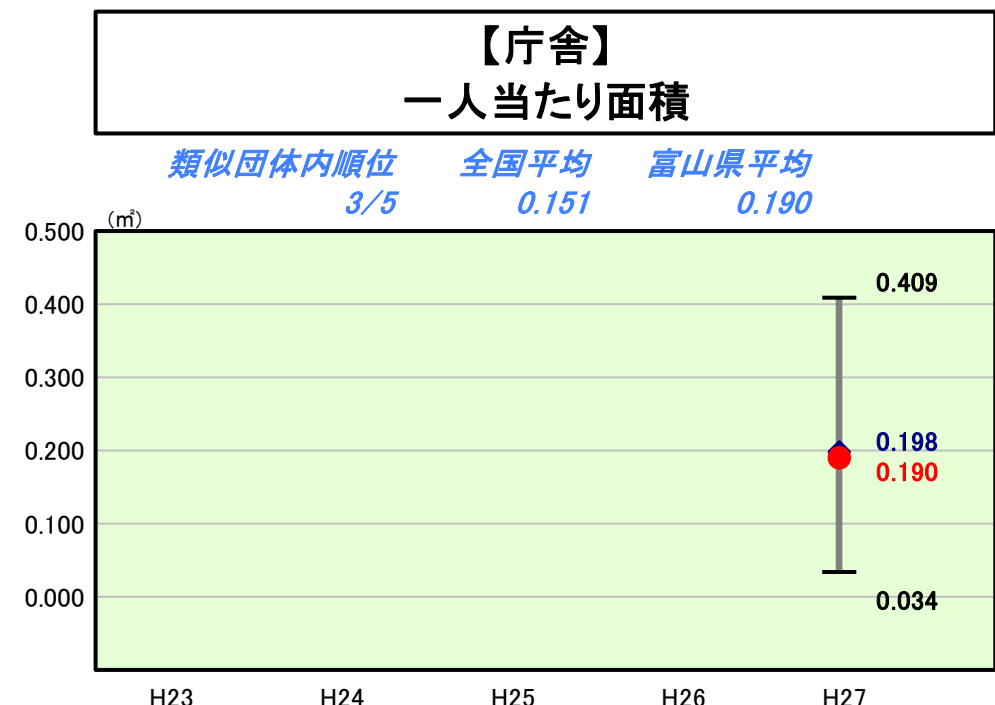
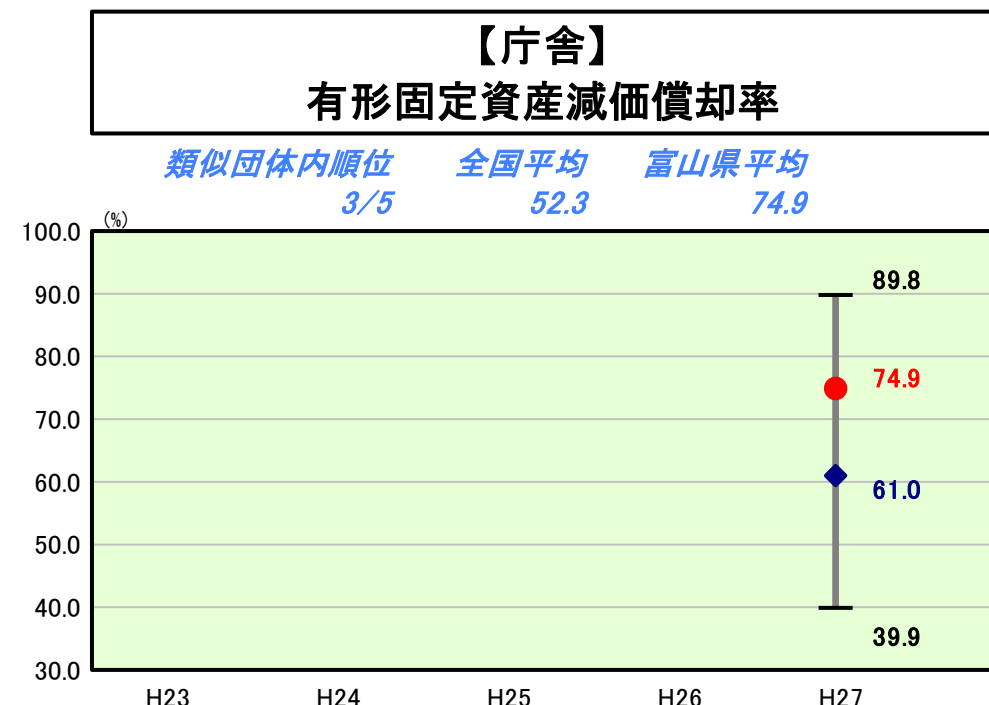
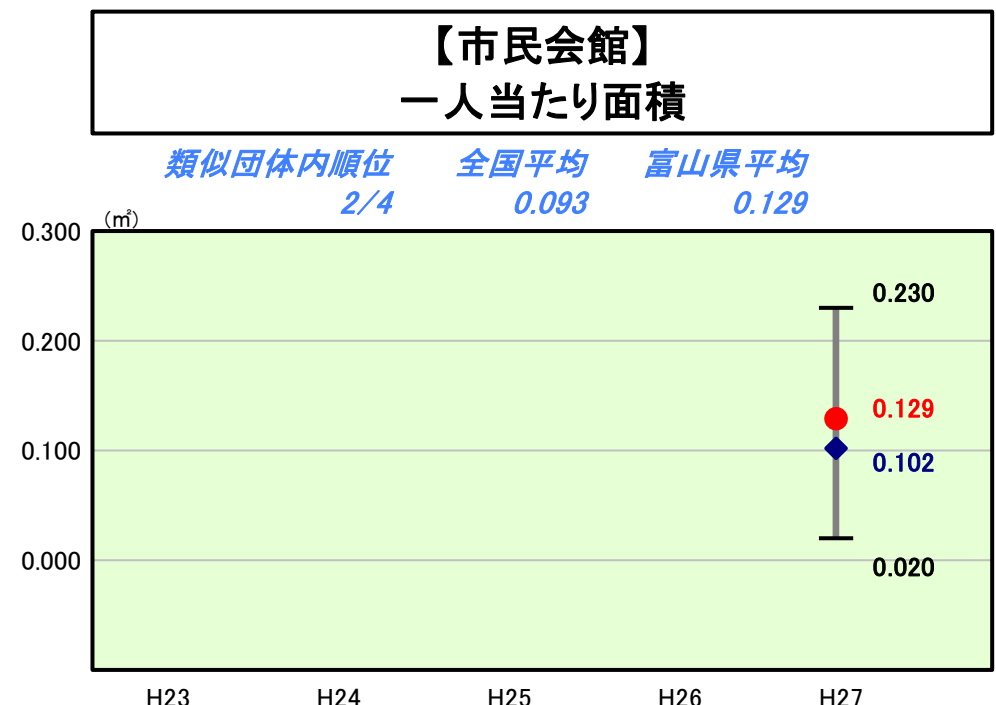
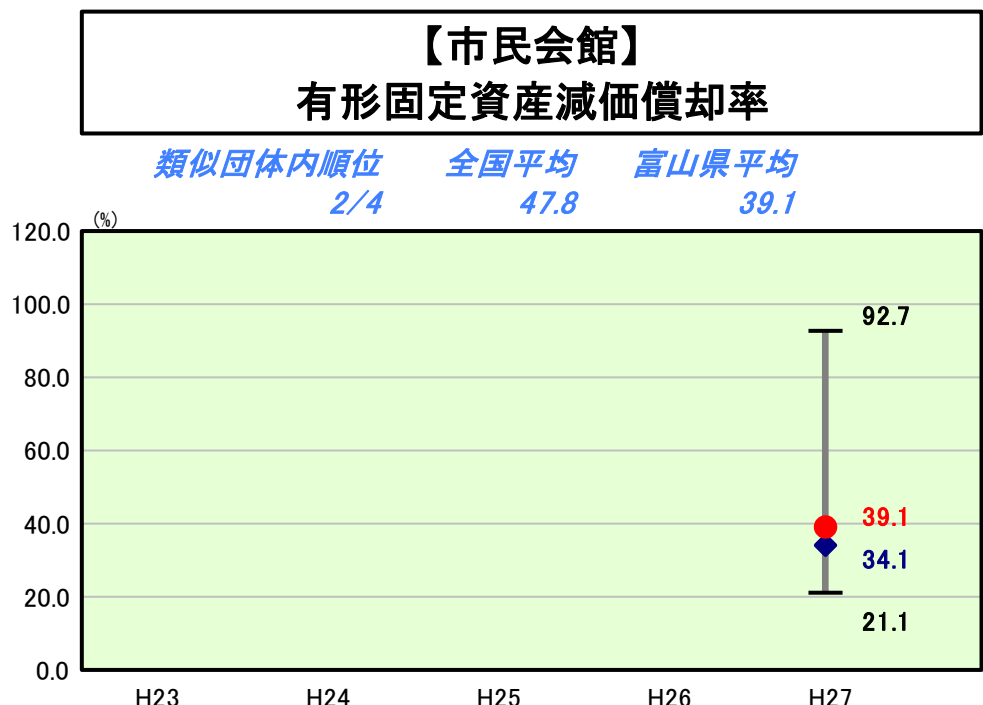
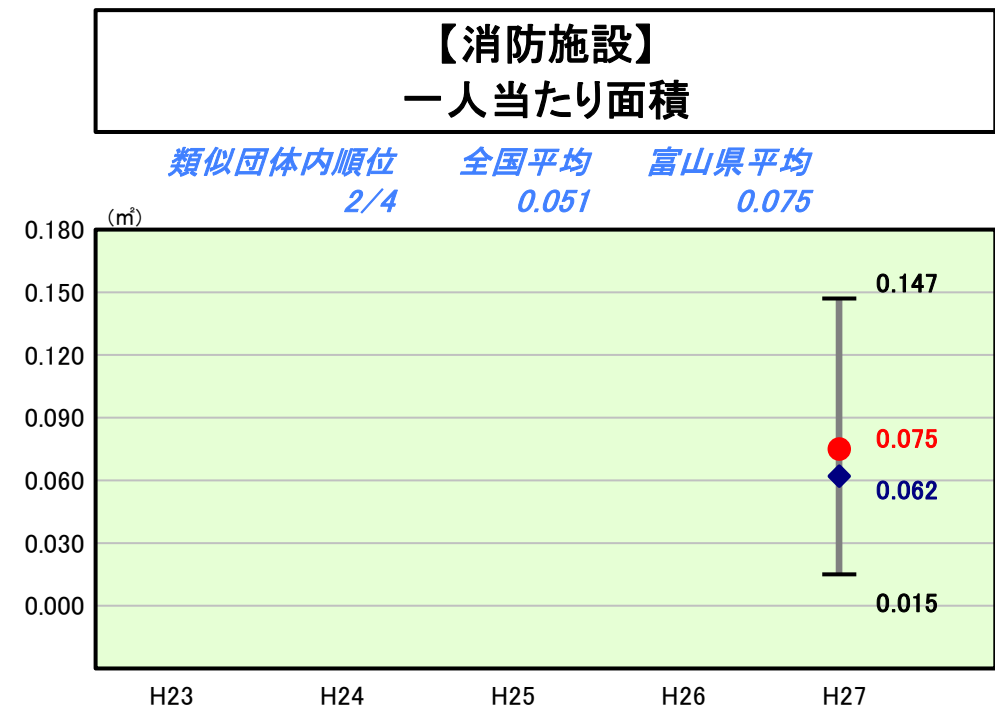
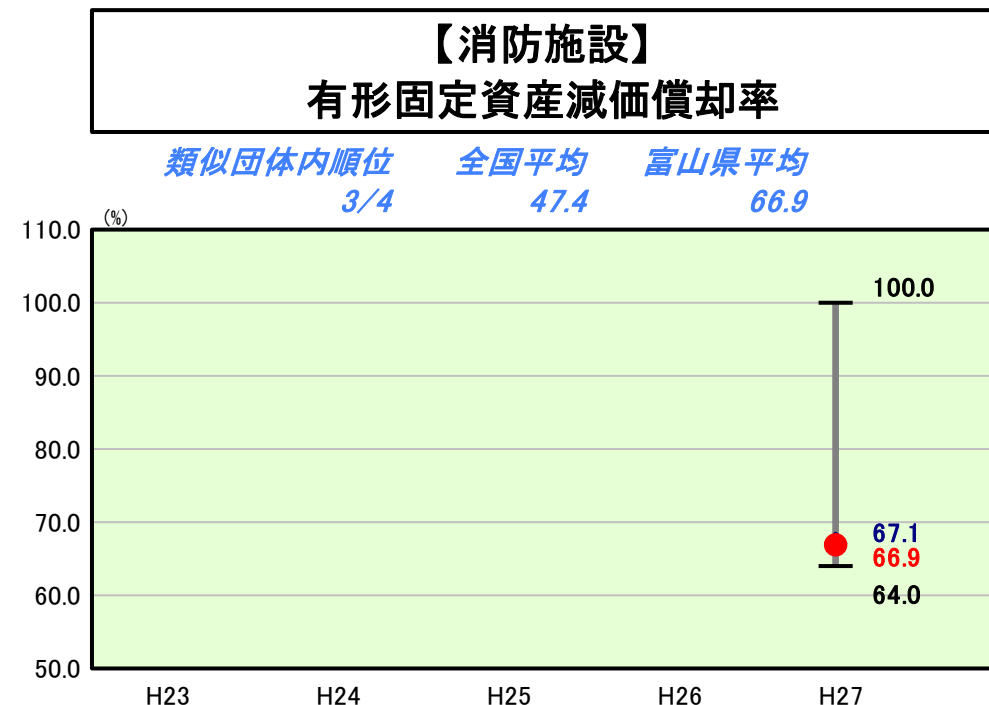
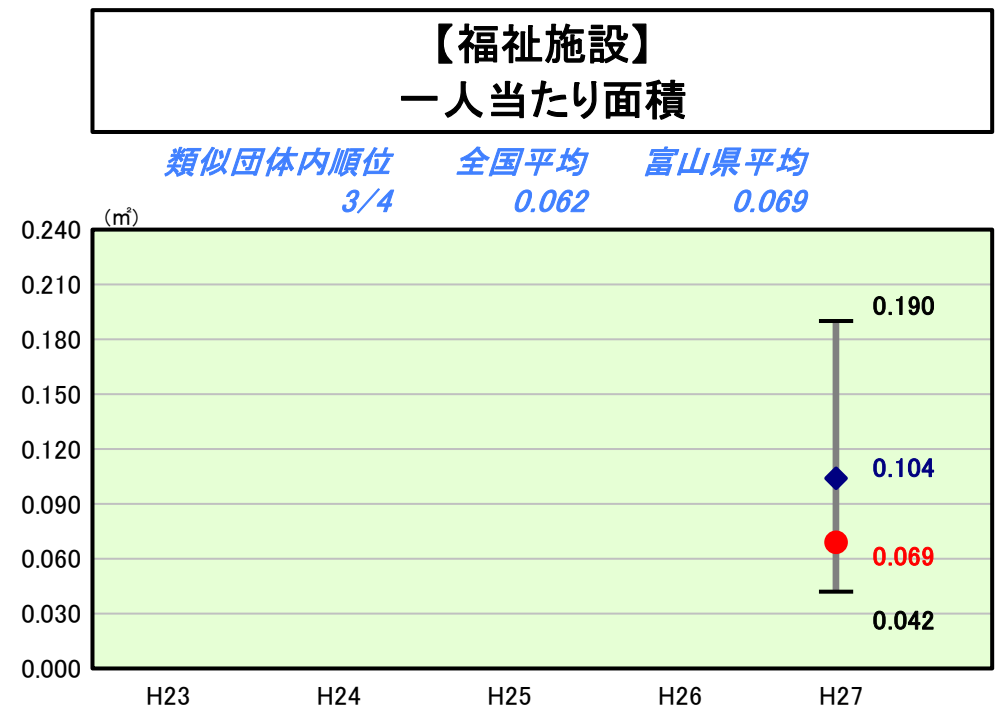
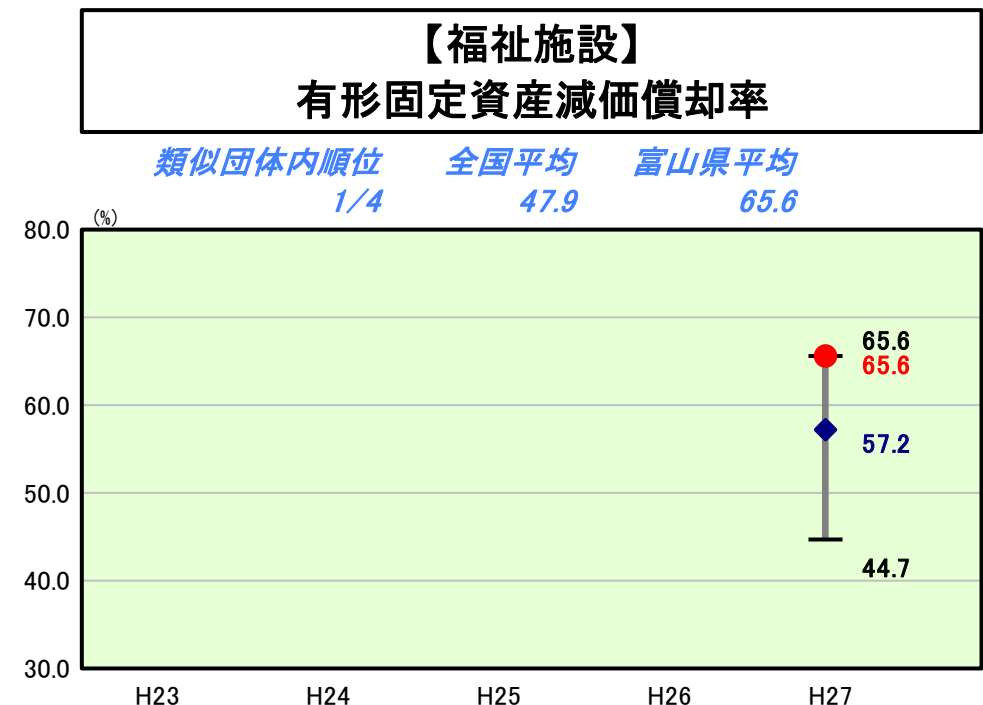
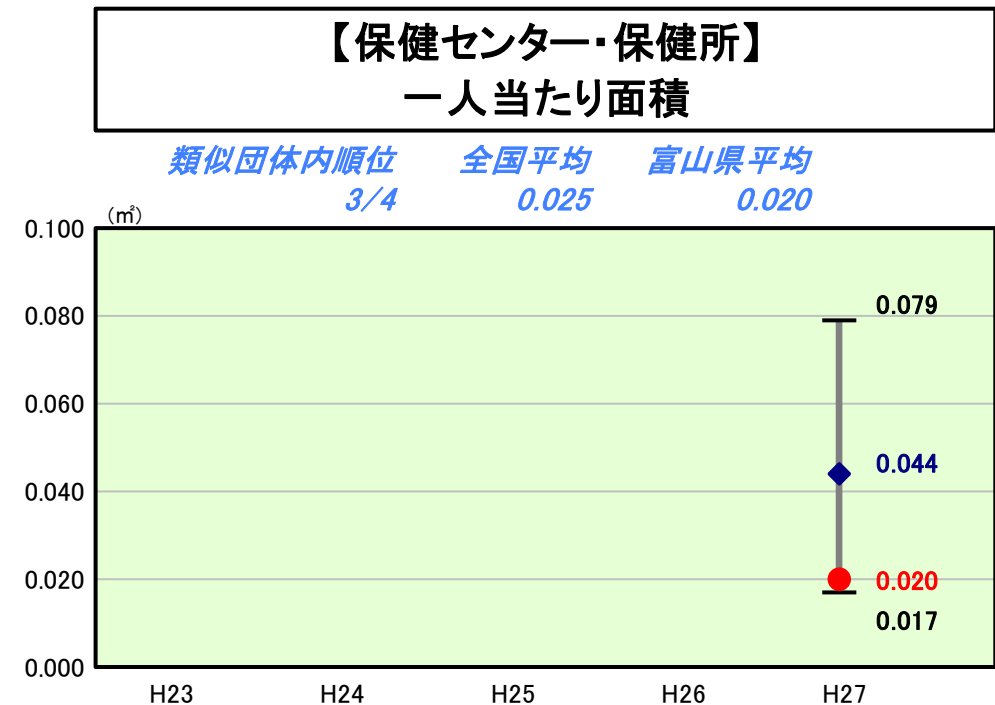
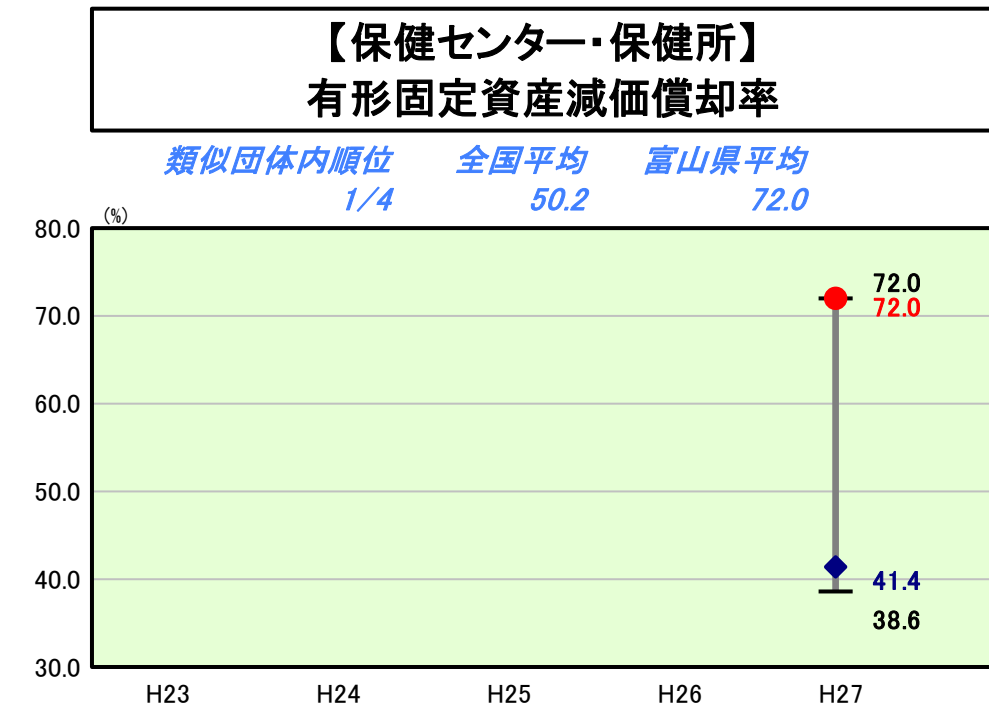
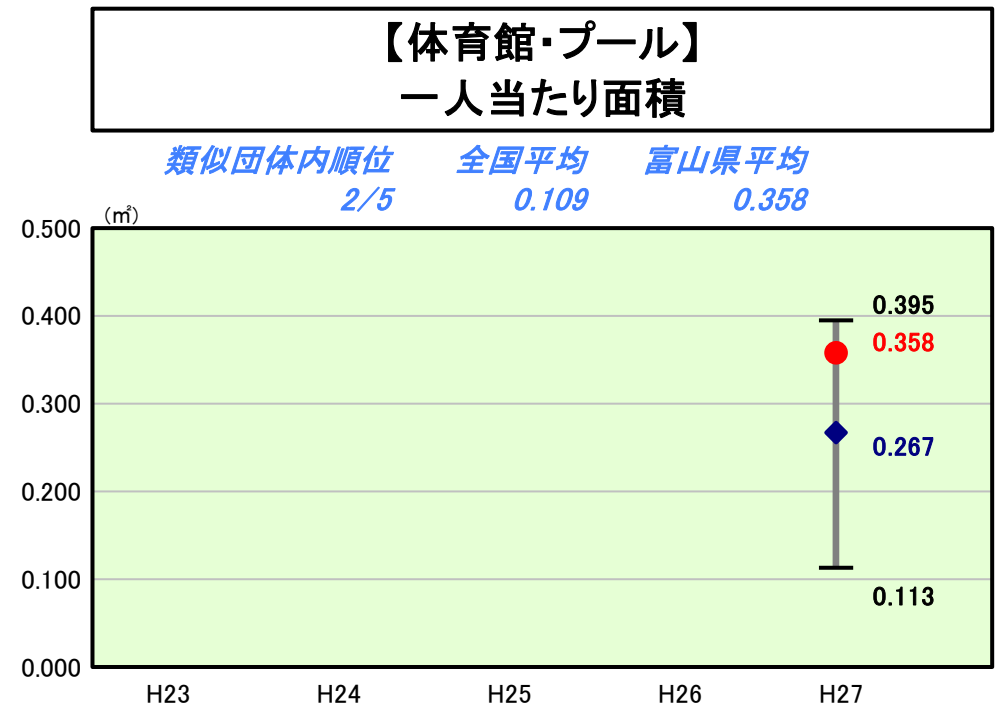
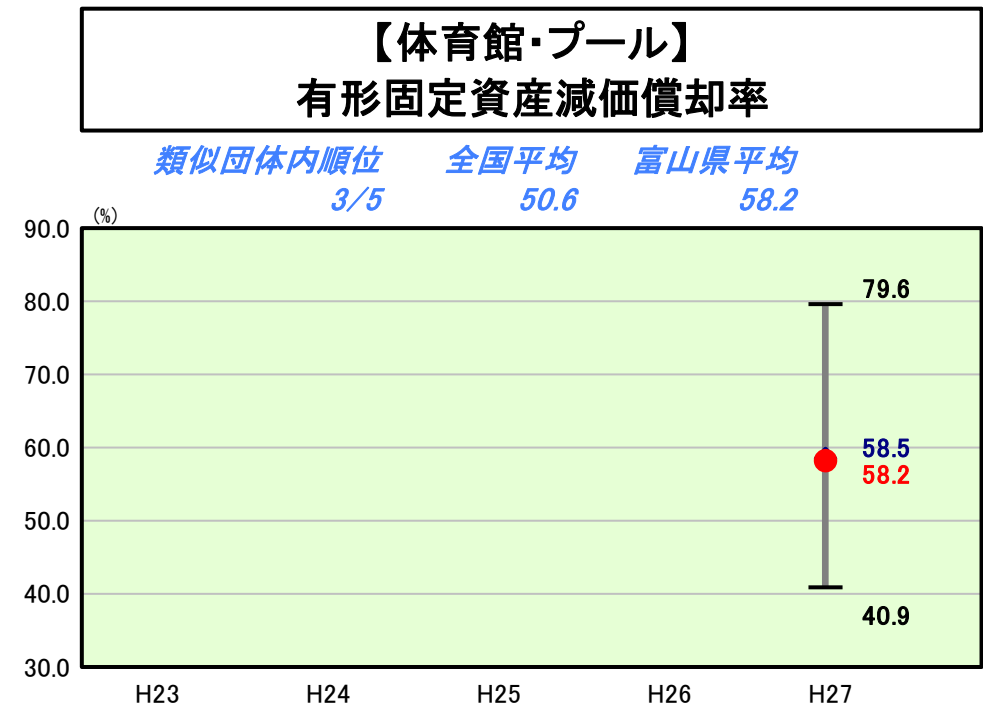
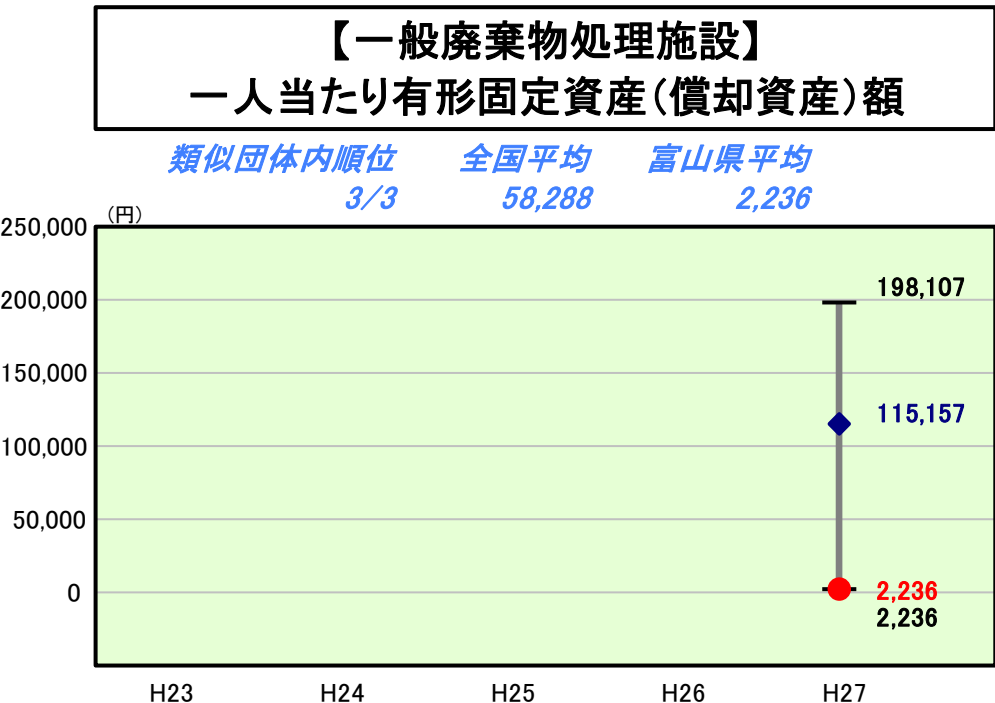
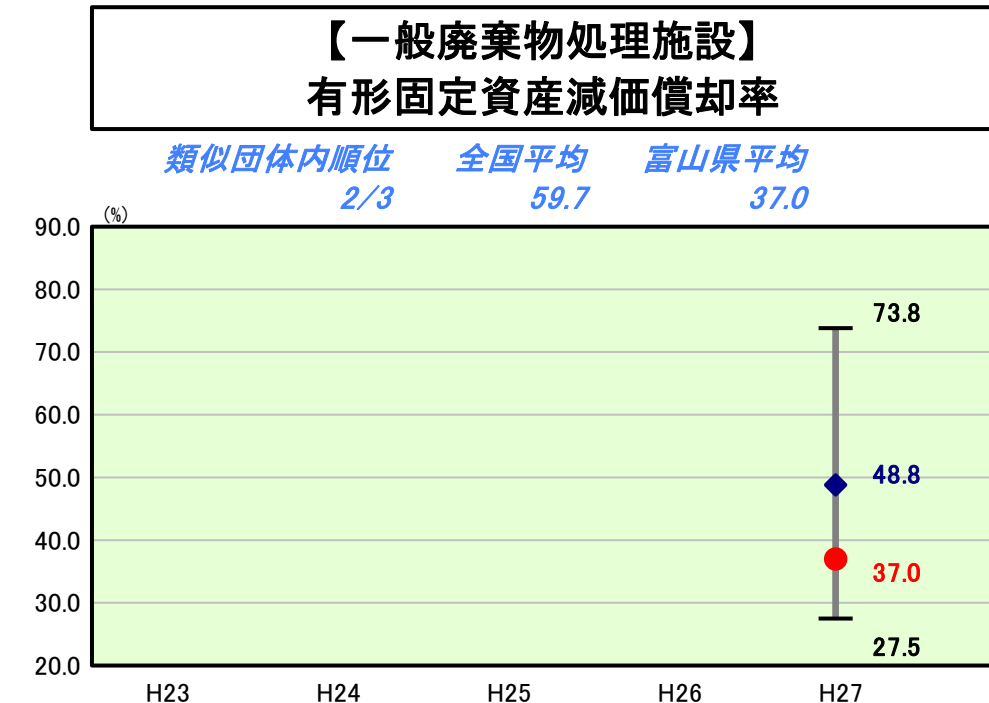
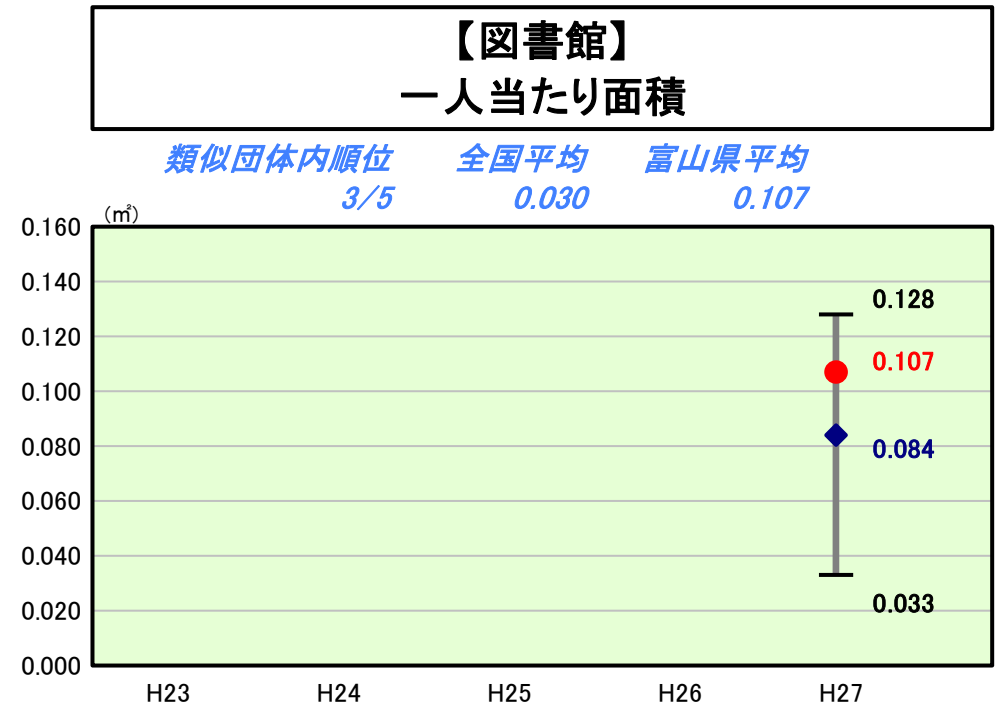
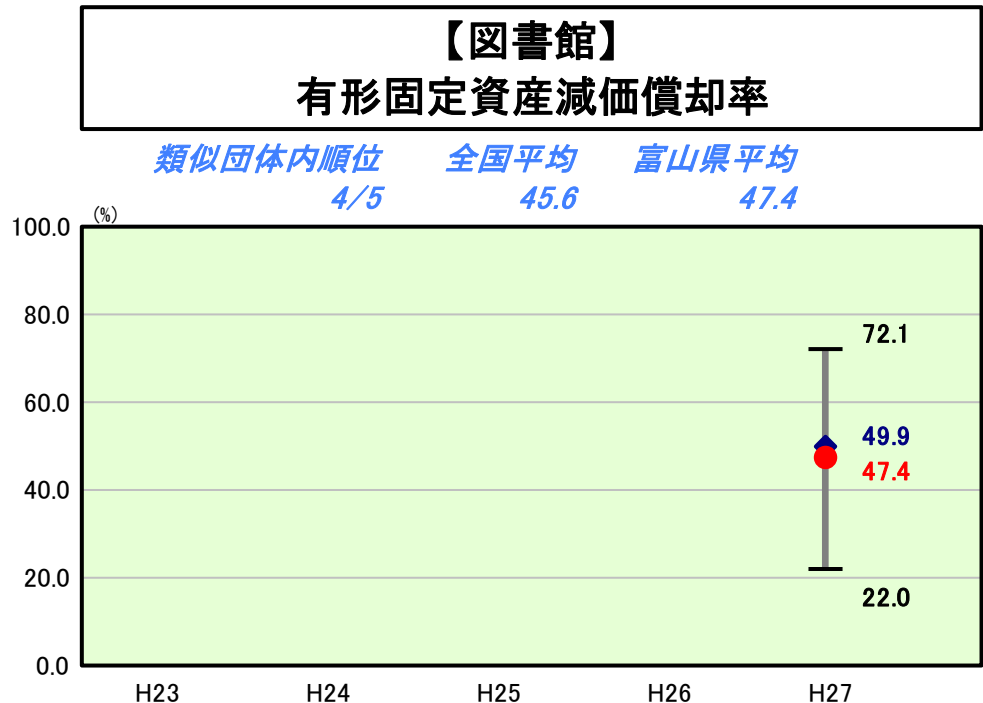
平成27年度

富山県滑川市

人	口	33,489	人(H28.1現在)	実	質	赤	字	比	率	-	%			
うち日本人		33,199	人(H28.1現在)	連	結	実	質	赤	字	比	率			
面積		54.63	km ²	実	質	公	債	費	比	率	10.5	%		
歳入総額		14,056,442	千円	得	来	負	担	比	率	42.1	%			
歳出総額		13,089,041	千円	市	町	村	類	型	H23	I-2	H24	I-2	H25	I-
実質収支		727,742	千円	(	年	度	毎	)	2					
標準財政規模		7,750,528	千円											
地方債現在高		11,279,380	千円											



※ 平成28年10月1日時点で固定資産台帳を整備済みの団体について、数値を記載している。
※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
※ 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。
※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成27年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



施設情報の分析欄

【図書館】図書館は昭和54年度に建設した本館部分と、子ども図書に特化した子ども図書館を有しているため、人口一人あたりの面積は広くなっている。
【体育館】大きなアリーナを備える総合体育センターには、弓道場を含めた武道館や相撲場なども備えており、人口一人あたりの面積は広くなっている。
【福祉施設】主に平成7年に取得した室内ゲートボール場の維持管理を行っており、年数の経過とともに外壁などの損傷が確認されることから、今後適切な修繕を行い施設の延命に努めて行きたい。
【市民会館】主に昭和42年度に建設した大ホールと、平成19年度に建設した市民交流プラザを有している。いずれの施設も適時適切な時期に改修や設備の更新を行っており、引き続き予防保全の考え方に従い、施設の維持管理を行ってきたい。
【一般廃棄物処理施設】ごみ処理・尿処理については、富山地区広域圏で実施していることから、大規模な施設は有していないところである。
【保健センター】昭和54年に取得した健康センターのみとなっており、予防保全の考え方に従い適切な維持管理を行うことで施設の長寿命化をはかることとしている。
【消防施設】消防署庁舎、各分団施設の維持管理を行っているが、いずれの施設も建設から年月が経過しており、減価償却率は66.9%となっている。各施設については、予防保全の考え方に従い適切な維持管理を行うことで施設の長寿命化をはかることとしている。